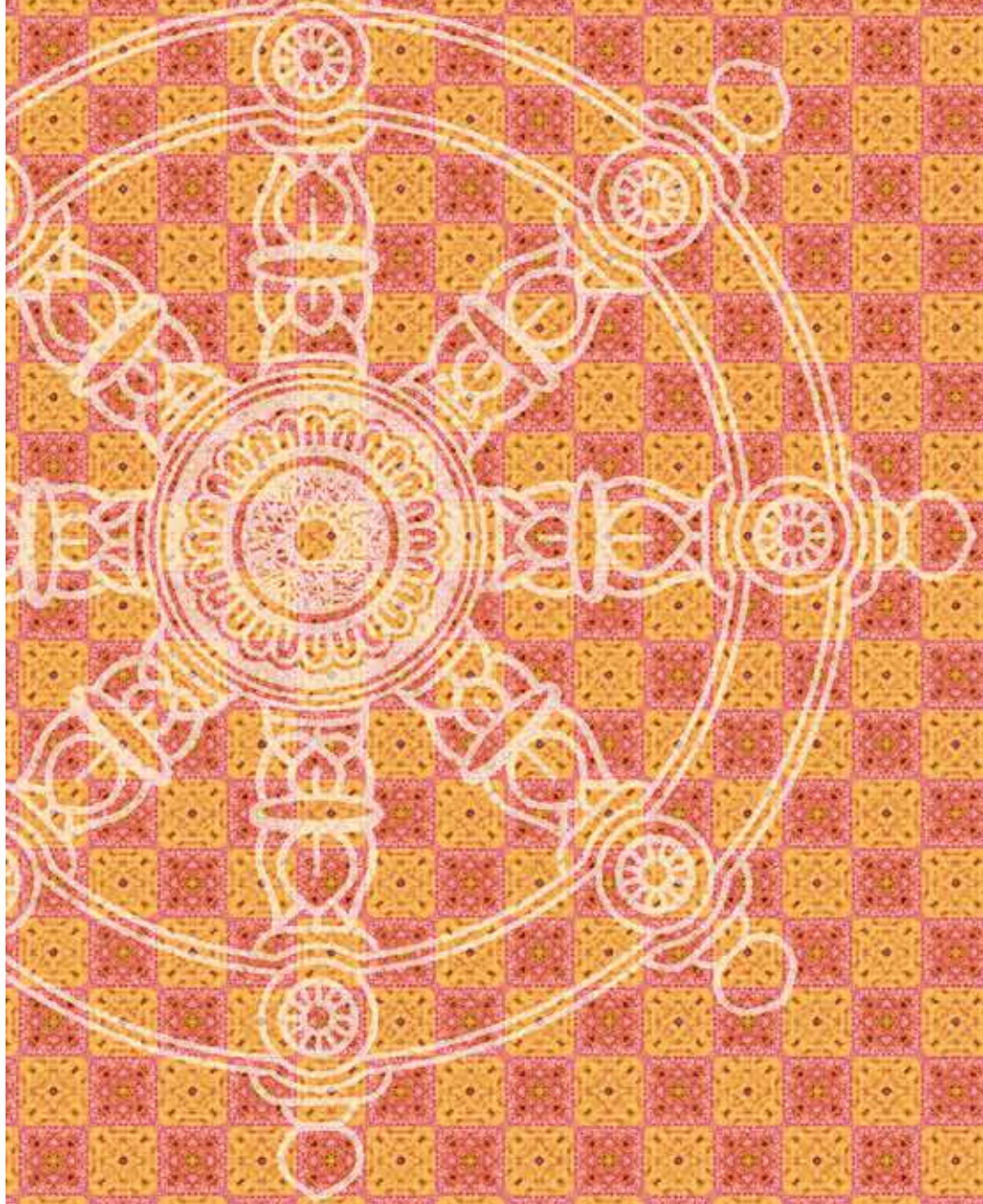


道 みち

公益財団法人 仏教伝道協会

No.09
2020



BDK
Newsletter

「朝のこない夜はない」
 当たり前前の日常に感謝して



公益財団法人 仏教伝道協会
 会長 木村 清孝

02 公益財団法人 仏教伝道協会 令和元(2019)年度の主な活動

1. 出版事業

- シリーズインタビュー 「仏教聖典」を訪ねて ～人生を変える一冊に出会う
 インド「仏教聖典」頒布プロジェクトを振り返る 未来を担う子ども達にも学ぶ機会を
- 「仏教聖典」頒布の今
- 「輝け!お寺の掲示板大賞2019」開催
- 第4回「こころの絵本大賞」受賞作品決定
- 第6回「一日一訓カレンダーフォトコンテスト」開催
 *写真展「第5回一日一訓カレンダーフォトコンテスト」(於 築地本願寺・平等院・瑞巖寺)
- 「釈尊絵伝」絵画展 開催(於 瑞巖寺)「釈尊絵伝」がジグソーパズルになりました!
- 「日めぐりブツダせいかつ」刊行
- 「仏教聖典のありがたいことばキャンペーン」開催
- 『仏教手帖2020』発売

12

2. 助成・表彰事業

- 奨学金事業報告
 *令和元(2019)年度「外国人留学生奨学金」受給者紹介
 *令和元(2019)年度「日本人留学生奨学金」受給者紹介
- BDK奨学金「奨学生交流会」開催(於 仏教伝道センター) 2019年7月10日
- 第53回「仏教伝道文化賞」贈呈式開催(於 仏教伝道センター) 2019年10月17日
- 令和元(2019)年度「助成金事業」報告

19

3. 啓蒙活動・支援事業・仏教講座の開催

- 第49回「実践布教研究会」開催
 (於 高野山真言宗総本山金剛峯寺) 2019年5月29日～31日
- 「特別坐禅会」開催(於 曹洞宗大本山總持寺) 2019年6月1日
- FM 大阪「笑い飯哲夫の サタデーナイト仏教」公開収録(於 三津寺) 2019年6月9日
- 仏教伝道センタービル入口に「掲示板」設置 2019年7月
- 「お寺でヨガと坐禅をやってみよう!」開催(於 龍雲寺) 2019年7月29日
- 「親子で学ぶ精進料理教室」開催(於 浅草・おいしいのつくりかた) 2019年8月4日
- 紙芝居『ブツダ』(手塚プロダクション監修)の完成披露イベント
 贈呈式&紙芝居ショー開催 2019年10月1日
- 第5回「沼田智秀仏教書籍優秀賞」受賞記念講演(於 龍谷大学・東京大学) 2019年10月4日
- 「体感する仏教～浅草編～」開催(於 浅草寺・緑泉寺) 2019年11月9日
- 第19回仏教音楽祭「Buddhaspel 能・狂言と仏教の夕べ」開催
 (於 セルリアンタワー能楽堂) 2019年11月14日
- 「英語で学ぶ精進料理教室」開催(於 浅草・おいしいのつくりかた) 2019年11月20日
- 特別講座「食を通じて仏教を学ぶ」映画「典座」×精進フレンチ 2020年2月15日
- 各種講座のご案内
 *「仏教聖典」を経営に活かす会・生活に活かす会 *仏教ヨガ講座
- 仏教初心者講座
- 仏教を初歩英語で学ぶ会
- 連続仏教講座「世界の仏教を学ぶ」
- 令和元(2019)年度 BDKシンポジウム開催
- ちょっとひと休み 公式ウェブ動画公開!!

36

海外協力機関のご紹介

- カナダ仏教伝道協会 ● 米国仏教伝道協会 ● ハワイ仏教伝道協会
- メキシコ仏教伝道協会 ● 台湾仏教伝道協会 ● アジア仏教伝道協会
- ヨーロッパ仏教伝道協会

46

“ささえあって” 「希望(きぼう)」



公益財団法人 仏教伝道協会

BUKKYO DENDO KYOKAI

BDKニューズレター No.9 2020-4,500

令和2(2020)年6月1日発行(毎年1回発行)

発行 公益財団法人 仏教伝道協会
 〒108-0014 東京都港区芝4-3-14
 電話: 03-3455-5851(代)
 FAX: 03-3798-2758

編集・撮影 江口 郁(公益財団法人 仏教伝道協会)
 印刷 株式会社アーク/デザイン 田所淳一



平素より当財団の事業にご理解ご協力をいただき、まことにありがとうございます。

本誌では令和元（2019）年度の活動を中心に報告させていただきますが、それらの活動の立案・実施にあたり、ご協力を賜りました関係各位に対し、改めて厚く御礼申し上げます。

「令和」となつて初めて迎えた新しい年。残念なことに、年初から新型コロナウイルスが世界中に広がり、その感染の拡大とそれに対するさまざまな対策の実施により、日常生活や経済活動に暗い影を落としてきました。その収束への期待も少しは持てるようになりましたが、まだ気を緩めることはできません。私たちが予定しています本年度の活動も、その影響から完全に逃れることはできないでしょう。しかし、できるかぎり充実した活動を全うできるよう、頑張つてまいります。

発願者 沼田恵範師は、株式会社ミットヨの事業経営においても、また仏教伝道活動においても、幾度かの苦難を乗り越えてきました。そして、それらの苦難に直面したとき、師はいつも「朝の来ない夜はない」という言葉を思い起こし、人にもそう語つたそうです。

私たちの人生は、毎日の生活の積み重ねですが、決して順風満帆な時ばかりではありません。突然、当たり前にできていたことが当たり前でなくなることがしばしばあります。けれども、一時は先の見えない不安の闇の中に投げ込まれたとしても、やがて必ず朝日は昇り、その輝く光に照らされて、闇は消えると信じるのです。

平穏な時には、そのことが当たり前ではないことを知って素直に感謝し、苦難の時にも希望を失うことなく、日々真心をもって努めていきたいものです。

「仏教聖典」を訪ねて

人生を変える一冊に出会う 未来を担う子ども達にも学ぶ機会を



インド国内
「仏教聖典」頒布
プロジェクトを
振り返る

◎取材協力=Rumi Impex Private Ltd. 代表取締役社長 Rumi (鶴岡弥生) 氏 同取締役 ニラジ・プリー氏
◎場所=公益財団法人仏教伝道協会 ◎聞き手=公益財団法人仏教伝道協会 印牧恵美 柳衛悠平
◎編集・撮影=公益財団法人仏教伝道協会 江口郁



ナーグプル大学仏教学科にて
中央のパーリ三蔵の左隣がチャンドラ・キルティ師

仏教伝道協会では、主軸事業のひとつである「仏教聖典」の頒布を出版事業の中心として位置づけ、継続的な活動を行ってきました。近年はホテル・旅館などの宿泊施設はもとより、寺院、医療施設などに加え、教育機関でも使用されるなど、さまざまな活用がなされています。

今回は、当協会始まって以来最大の規模で実施した、インド国内への「仏教聖典」頒布プロジェクトを振り返り、同国内で頒布に尽力いただいたRumi Impex社代表取締役社長のRumi氏および同取締役のニラジ・プリー氏、そして現地で頒布プロジェクトに参加した柳衛職員にも加わってもらい、当時の話を伺いました。

印牧 (以下印) まずは、Rumi Impex社では、どのような事業をされているのか教えていただけますか。

Rumi (以下R) 分かりやすく言うと、輸出入の仕事をしています。仏具、経典などをインドに輸入し、それらの梱包を修理・再包装した上で、希望先に配送する仕事をしています。私共の会社は、デリーに事務所を構えておりますが、近くにマジユヌカティラという町(チベット人のキャンプ)があり、大僧院が経営する僧侶用の宿舎などが密集していて、ある種の(宗教的な)基点になっているような場所です。そちらでは、僧侶たちが、ネパールで作った仏具などを買って求めている、主に密教用の仏具

印 なるほど、ありがとうございます。その地域ならではの貴重なお仕事ですね。そのような貴社と当協会のご縁とは？

そして、なぜ今回の「仏教聖典」頒布プロジェクトにご協力いただけることになったのでしょうか。

R 私は以前、東京・神田に在るポタラ・カレッジ(チベット仏教普及協会主催)でチベット

仏教を勉強していたことがあるのですが、そちらで仏教伝道協会さんが出版・頒布されている「仏教聖典」のチベット語の翻訳・改訂などを担当されたチベット人のクンチョック・シタル

先生（チベットからインドに難民として入った経緯あり）に出会い、懇意にしていたでいます。貴協会より「チベット語仏教聖典」のインド国内のチベ

ト系寺院と学校への寄贈発送を相談されたクンチョック先生から、「是非あなたのところから配達してください」とインドでの郵送を依頼されました。インドでは、非常に郵便事情が不安定で、とても残念な話なのですが、海外からの荷物、特に交通事情の発達していない地域への配達には、配達員が面倒くさがって届けなくても届かなかったことになってしまっています。また関税が高いこともあり、受け取り手自身も、自分が注文したにも関わらず、配達員から高額の税金を請求され受け取りを拒否してしまふ、といった事例も多く報告されており、問題なく届くことが減多にない、ともいわれている程なのです。大正大学の依頼でチベット經典のDVDの配達を担当させていただいたこと

等、私がインド国内に於いて、きめ細やかに配達する仕事で実績をあげていることをご存じのクンチョック先生からの紹介がご縁の始まりでした。

印 では、その時初めて「仏教聖典」と出合われたんですね。その時の聖典に対する印象はいかがでしたか。

R 実は、昔から世界中のホテルに滞在すると見かける「仏教聖典」の存在は存じ上げておりましたので、クンチョック先生から「仏教聖典」のチベット語版を手渡されたときは、正直、大変驚きました。あの聖典にチベット語版もあったとは！そして、それを扱う仕事を私がすることになるうとは！と、只々ご縁を感じておりました。

そうするうちに、どんどん素晴らしいご縁が繋がっていくのです。信じてもらえないかもしれませんが、裏手がデリー大学なのですが、その近所の電気店で、以前から面識のあったデリー大学で仏教の教授をされている方がいて、その方に偶然再会する機会がありました（以前お会いした際に「仏教聖典」の話はしていた

が、それ以上の進展はなかった）。ですが、その後ニラジさんが不思議な夢を見たのですが、その中にダライ・ラマ法王、ニラジさん、ニラジさんのお兄さんと私（Rumi氏）が「仏教聖典」を持つて登場したようで（笑）。

その日以来、大学関係者が大変興味を持つて下さり、是非「仏教聖典」が欲しいとのお問い合わせをいただくようになりました。

それをきっかけに、デリー大学の中で、口コミで噂が広がり、次々にご縁が繋がります。ついには今回の頒布プロジェクトの実施に、尽力いただいたナーグプルでも活躍しているチャンドラキルティ先生（Mahitia Sastha, iktaran Singh Nagpur代表）につながっていくのです。また、インドで頒布するには少々粗削りだった当初の「仏教聖典」ヒンディー語版をニラジさんと教師である奥さんの協力で、改訂作業を進めること1年。遂に皆さんに自信をもつて紹介できる「仏教聖典」ヒンディー語版が完成し、今回のプロジェクトに使用できる事になりました。

印 素晴らしいご縁が繋がり、当協会としても有り難い限りです。しかしながら、今回の頒布プ

ロジェクトにご協力いただくにあたっては、ご苦勞もあつたのではないのでしょうか。何か印象的な出来事など、ありましたら教えていただけますか。

R 当初、このプロジェクト実施にあたっては、主導してくださったのがチャンドラキルティ先生のみでしたので、規模も大きくせず地道に寺院を中心に頒布活動をしていく予定でした。

しかし、これもまた評判が評判を呼び、各所へ噂が広まり、頒布活動を本格的に開始してから3、4日目には、ほとんど輪が広がっていききました。更には、地元メディアに取り上げられ、頒布活動の写真が知らない間に新聞

に掲載される程になりました（笑）。そして日本から、わざわざ柳衛さん（仏教伝道協会職員）にも活動に加わっていただけただこと、最終的には約1週間70軒くらいの諸施設を訪問させていただいたと思います。インドは広大ですので、私たちが直接訪問できない場所では、自ら「仏教聖典」を手に入れるために、わざわざ遠方から受け取りにお越しくださいました。それだけ「仏教聖典」の存在はインドの人びとにとって貴重だったので、非常に有り難い事ではあります。非常外に過密なスケジュールになつてしまひまして、柳衛さんにもご苦勞をお掛けしました。

柳衛（以下柳） いえいえ。なかなか出来ない貴重な体験をさせていただけました。やはり、実際に現地に行かせていただき、インドでは「仏教」の教えを欲していらつしやる方が多く、その熱量を感じました。そして何より各学校への訪問は良い経験でした。

R そうですね。単純に「貴重な本を寄贈しますので必要な方



Rumi氏（右）、ニラジ氏（左）

「へ配っておいってください」と言
って送っても、折角送った本を
売りに出されてしまうのが実状
です。以前台湾の団体が同じよ
うに仏教の本を郵送したとこ
ろ、寄贈したものを不法に頒布
してしまつた者が出てしまつた
という事も聞いております。で
すから、私たちのように直接学
校へ赴き子ども達に手渡す、こ
れが重要だと考えます。売られ
ないためにも、最も安全な方法
です。そして彼らにとつて

も、「ここまで来てくれて、手元
に直接届けてくれる」と全く対
応も違います。

柳 特にナーグプルの学校で
の歓迎ぶりには感動しました。
そして、どの学校も仏教教育の
レベルが高いと感じましたね。
これらの教育施設は、貧しい子
ども達の為にアンベートカル博
士（インド・カースト制度の最
下層、ダリット出身でありなが
ら、ネルー政権下で法務大臣に
就任。死の2月前に約50万人の
人びとと共に仏教に集団改宗
し、仏教復興運動を始めたこと
で知られている）が設立された
学校が多いと聞いています。鉛
筆一本（＝勉強）で社会に羽ばた
いて欲しい」と言う考え方が根

付いており、瞑想も教育の一部
に取り入れていらつしやいまし
たよね。

R 本当にそうですね。ガラ
イ・ラマ法王やアンベートカル
博士の存在は非常に大きいと思
います。必ずしも、全てが肯定さ
れる思想ではないにしろ、現代で
は、実際に最下層から上がつてき
て経済的にも教育的にも成功を
収めているような層が出てきて
いますし、一部アジア圏では、イ
ンドが発展しないのは、仏教発祥
の地でありながら仏教信仰をす
すめていないから？ 等と揶揄
されることもあります（笑）。

印 なるほど。それが逆に仏教
の道徳観を再度見つめ直すこと
にも繋がっているとお考えなの
ですね。

R はい。今、インドには、逆
輸入的に仏教の教えが入つてき
ています。仏教的思想は仕事上
のモラルも学べると考えている
方もいらつしやいます。

印 インドは、近年目まぐるし
い経済的発展を遂げていると思
いますが、グローバル化が進む
現代社会で、今後のインドと日

本の友好関係や、仏教が持つ可
能性についてもご意見がありま
したらお聞かせ下さい。

R お釈迦様がインドで悟ら
れたことから始まつた仏教です
が、インドでは一時期ヒンドウ
ー教に押されて衰退し、いわゆ
る新仏教として復活しました。
現在もまたヒンドウー至上主義
を謳つた政策が取られています
が、私個人としては、否定するの
ではなくインド国内でもつと仏
教を知つていただきたいと思つ
ています。ヒンドウー教徒の方
が、自分たちと別な視点やモラ
ルがあることに気付くのは、イ
ンドがこの先グローバルに発展
するためにも重要ではないかと
思います。良いと思えるところ
は取り入れていただけると更に
嬉しいですね。お互いに知るこ
とはとても重要だと思います。

ニラジ 私も同感です。もつと
仏教を知つていただきたいです
ね。そして、もつと日本からナ
ーグプルへの行き来があつても良
いのでは？ と感じています。現
在ナーグプルでは、お寺と信者と
の間を取り持つ立場である事務
方が非常に重要な役割を果たし
ています。またナーグプルは独特

の文化があり、夫が妻を見守り、
女性の果たす役割が大きい地域
です。女性が政治的な活動をして
いるのも多く見られます。



笑顔の眩しいインドの小学生

の文化があり、夫が妻を見守り、
女性の果たす役割が大きい地域
です。女性が政治的な活動をして
いるのも多く見られます。

ていらつしやいました。とにかく
歓待してくださつて、毎回花や食
事を提供してくださり、本当に有
り難い事ばかりでした。

柳 そうですね。私がナーグプ
ルの学校を訪問させていただい
た時にお世話になつた運転手の
アセさんのお母さんも熱心な仏
教徒で社会活動家でもあり、女性
の地位向上を目指して活動され

R 学問も勿論重要なのです
が、もつと単純に、人の往来があ
ると良いと思います。日常生活
レベルでの仏教的な交流と申し
ますか。お寺の活用、在り方、僧
侶と信者との付き合い方など、



ナーグプル大学での「仏教聖典」等の寄贈
「仏教聖典」は専門家からも高い評価を得た

何かのヒントがあるのでは、と感じています。現代人は、もっと信じる力を養っていく必要があると思います。自分に自信がないため、自分自身に頼ろうとす

ると自己崩壊につながっている。悲しいことですが、今、正しい信仰の在り方が重要だと強く感じています。

印 ありがとうございます。では、今後の当協会の活動に期待することはありますか。そして、今回も沢山のお子さんへ「仏教聖典」を頒布いただきましたが、これから「仏教聖典」を通じて仏教を学ぼうとする子どもたちへメッセージがございましたらお聞かせください。

R 「仏教聖典」は当然素晴らしいのですが、私たちがインド国内で、どこに行っても言われることが「子ども用に何かありませんか?」「もう少し読みやすい絵本、漫画等々がほしい」というニーズです。ヒンドゥー教の教えについては、自宅のテレビで時代劇やアニメをみる感覚で、継続的に放映されていますから、当然子どもたちもそれらと大人と一緒に見続けていますので浸透しています。ですから、仏教ももっと分かり易いものが欲しいですね。大人でも絵で見ると分かる事もありますし、日本の昔話のように例え話などを取り入れていくなども良いのではないのでしょうか。

特に、インド国内でも、チベットの仏教系の子ども達(小学校2、3年生)の反応は顕著で、大変興味を示してくれますね。小学校

〜大学まで幅広く寄贈をさせていただいていますが、今日は「仏教聖典」をもらいます」となると子ども達の姿勢が変わるのです。子供たちなりに重要さを理解しているのですね。そして、説教くさくならないように先生方も話して下さるため、子ども達もそれを大事に持ち帰るのです。

更に、各家庭において母親たちの存在は大きいですね。日常的にお寺に行く文化が根付いている地域では、大人は白いサリーに正装してお寺に集まります。私たちが訪れたときもそのようなにして迎えてくださいました。インドのお寺は昔ながらの雰囲気そのまま残っており、人が集まりやすい環境作りがされているように思います。その中で子ども達も自然と学んで行くのですよね。人は豊かになればなる程、自分の指針を失いがちで、より物質的、経済的な事に集中してしまいますので、是非仏教の教えを日常的に感じていただきたいのですし、もっとポジティブに活用してもらいたい、そう願っています。

今回は、Rumi Impex社はじめ、現地での活動にご協力くだ

さった皆さま、そして2018年の頒布活動にご協力くださった緑川明世師(天台宗・深大寺)等のご尽力により、当協会設立以来の一大頒布プロジェクトを終え、各国語版「仏教聖典」(英語、ヒンディー語、チベット語、ネパール語)を計46,980冊(2019年6月、9月の合計)に加え、「ブッダのおしえ」(ヒンディー語)計29,000冊(2019年9月)を無事届ける事ができました。

経済的に急速な発展を遂げるインドですが、その中でも子ども達の存在は特別です。目を輝かせて「仏教聖典」を受け取り、大切そうに扱う姿に、日々の教育や生活に根ざした仏教を伝える事の重要性を強く感じました。「仏教聖典」という一冊の本が繋ぐ可能性を再認識すると共に、出版事業を通じ、子ども達の日常生活に繋げていくためには何が必要なのかを改めて考える機会となりました。

◆「仏教聖典」やその他出版事業に関するお問い合わせは、仏教伝道協会公式サイトをご確認ください。

www.bdk.or.jp

1 出版事業

01 Activity 「仏教聖典」頒布の今
令和元年(2019)年度の頒布状況等



〈令和元(2019)年の『仏教聖典』頒布状況〉1月～12月

	件数	寄贈冊数	販売冊数	
国内	ホテル(新規)	32	6,334	
	ホテル(補充)	112	6,443	
	病院(新規)			
	病院(補充)	5	226	
	学校(販売)	9		10,780
	学校(寄贈)	228	29,222	
	寺院(販売)			3,439
	寺院(寄贈)		173	
	一般他販売			300
	書店寄贈		1,123	1,322
国内頒布数計		43,521	15,841	
海外	海外協力機関		81,308	
	ホテル	14	2,940	
	その他		49,218	
海外頒布数計		133,466		
総計		176,987	15,841	

令和元(2019)年度は、国内ホテルや宿坊等に向けて多数の「仏教聖典」を寄贈することができました。令和3(2021)年に開催予定の東京オリンピックにより、今後更に外国人旅行者の増加が見込まれており、それにとまない開業する多くの新規ホテルにもアプローチしていく予定です。また平成24(2011)年度以来続いている国内の仏教系学校や保育施設等への頒布に関して、337校へ約40,000冊の「仏教聖典」を寄贈しました。

海外へは、昨年に引き続きインドへの寄贈を行いました。インド最北部に位置するチベット仏教の中心地の一つであるラダックと、インド亜大陸の中央にある仏教復興の地ナーグプルにヒンディー語・英語版計46,980冊の「仏教聖典」と29,000冊のヒン

ディー語版『ブツダのおしえ』を寄贈しました。寺院に集う僧侶や仏教徒の方がた、学校関係者や子ども達に大変喜ばれ、感謝を持って受け取っていただきました。また今回の寄贈を知った周辺地域から多くのリクエストが当協会に寄せられ

ています。これらに応え、引き続きインドへの「仏教聖典」頒布活動を計画しており、今後も国内外に「仏教聖典」寄贈を積極的に働きかけていく予定です。

※詳しくは「シリーズインタビュー」をご覧ください。(P・2)



「仏教聖典」を手にする子ども達
(Lamdon Model Senior Secondary School : 在ラダック)

02 Activity

「輝け！お寺の掲示板 大賞2019」開催

昨年、大きな話題を呼んだ第1回に続き、「輝け！お寺の掲示板大賞2019」を開催しました。今回もテレビ、ラジオ、新聞、週刊誌と大変多くのメディアにとりあげられ、前回同様4か月間の応募期間の中で応募数が200件以上増加し、925作品が集まりました。

大賞は、浄土真宗本願寺派永明寺（北九州市八幡東区）の作品「衆生は不安よな阿弥陀動きます」に決定しました。これは令和元（2019）年7月に話題となったお笑いコンビ・ダウンタウンの松本人志氏のSNS上の発言をもじったもので、投稿されるや否や大きな反響を呼び、「いいね！」の数は100,000件を超えました。また、大賞発表後にはフジテレビ「ワイドナショー」の中で掲示板大賞の話題が取り上げられ、松本氏本人がこの掲示板に關して感想を述べる一幕もありました。

仏教伝道協会賞は、日蓮宗妙円寺（東京都渋谷区）の作品「お釈迦様を嫌いな人

もいた 誰にも「嫌われたくない」なんて思わなくていい」です。これは人間関係に悩んでいる人々の心に刺さり、こちらも多くの支持を集めました。他にも多数の優れた作品の投稿がありました。令和2（2020）年は、第3回目となる「輝け！お寺の掲示板大賞2020」を開催する予定です。



お寺の掲示板の写真をスマートフォンアプリに投稿して下さい。その写真内容の著作権・ユニーク性によって入賞を決定します。

「輝け！お寺の掲示板大賞2019」掲載サイト



大賞受賞作品『アリがダンスをおどったら』表紙

03 Activity

第4回「こころの絵本大賞」 受賞作品決定

「読み聞かせを通じて、子どもたちに『こころ』の大切さを伝えたい」という願いのもと、第4回「こころの絵本大賞」を開催しました。

【協賛】鈴木出版（株） 後援 毎日新聞社、（公社）日本仏教保育協会、（公財）全国青少年教化協議会

第4回目となる令和元（2019）年度の募集には、幅広い年齢層から、計89作品の応募がありました。

応募総数は、第3回目よりも増加し、ドイツやモンゴなど海外からの応募が複数あったことも大きな特徴



「こころの絵本大賞」大賞受賞者 mayfan氏

でした。児童文学者の西本鶏介氏、絵本作家の藤本ともしこ氏、鈴木出版編集長



審査員による写真の選定(仏教伝道センタービル)

Activity 04

第6回「二日一訓カレンダー」

写真展「第5回二日一訓カレンダーフォトコンテスト」開催

の波賀稔氏による厳正な審査の結果、大賞1作品、優秀賞3作品、佳作5作品が決定しました。

応募作品の中から大賞に

選ばれたのは、maytan氏の『アリのダンスをおどったら』。小さなアリの踊ったダンスをきっかけに次々と笑顔が生まれていく、仏教が

説く縁起思想を思わせる作品です。

大賞作品には賞金が贈呈され、令和2(2020)年3月に出版しました。

◇第6回「二日一訓カレンダーフォトコンテスト」

平成26(2014)年より毎年開催している当コンテストは、今回で第6回目を

迎え、応募総数は638件、2,115枚となりました。

令和元(2019)年9月5日に審査会を開催し、表紙を含む32枚を選定、入選者に賞状と賞金を贈呈しました。(入選作品は公式サイトでもご覧いただけます。
<https://www.bdk.or.jp>)

◇写真展「第5回二日一訓カレンダーフォトコンテスト」

写真展「第5回二日一訓カレンダーフォトコンテスト」を2019年4月27日から6月2日まで築地本

願寺インフォメーションセンター(東京都中央区)、2019年6月29日から9月16日まで平等院ミュージアム・鳳翔館(京都府宇治市)、2019年10月11日から11月27日まで瑞巖寺本堂(宮城県宮城郡)にて開催し、多くの参拝者からご好評をいただきました。

写真展の来場者数は、築地本願寺では約10万人、平等院では約28万人、瑞巖寺では約7万6千人と、大変多くの方がたに写真と仏教の言葉に親しんでいただくことができました。



写真展「第5回二日一訓カレンダーフォトコンテスト」(瑞巖寺)

05 Activity

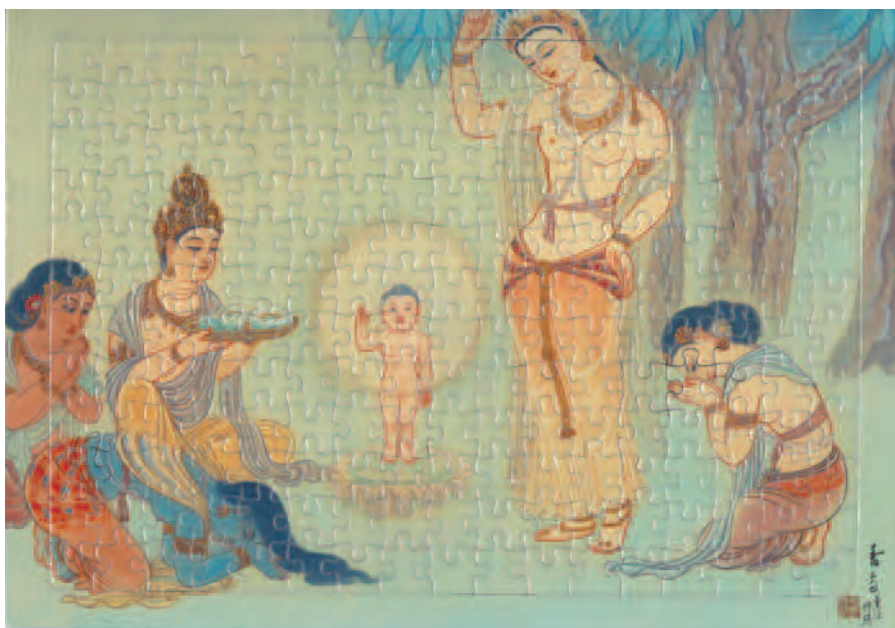
「釈尊絵伝」 絵画展 開催 於 瑞巖寺

令和元（2019）年9月12日から11月27日まで、宮城県の瑞巖寺において、野生司香雪画伯が制作した「釈尊絵伝」7枚の原画を作成時の資料や写真とともに公開しました。



「釈尊絵伝」絵画展（瑞巖寺）

会場では、原画の展示をはじめ、野生司画伯の人生を紹介した年表や直筆の手紙などを展示。ご来場の方がたには「釈尊絵伝」の筆致



釈尊絵伝パズル：B4サイズ「降誕」

や色彩を存分に味わっていただきました。
東北地方での絵画展開催は今回が初の試みとなりましたが、今後も多くの方にたに仏教絵画に親しんでいただけるよう、全国各地で「釈尊絵伝絵画展」の開催を検討しています。

「釈尊絵伝」がジグソーパズルになりました！

この度、「釈尊絵伝ジグソーパズル」を作成しました。このパズルを通じて、野生司画伯の筆使いや色彩等を、ピースを手に取りながら、細部まで味わっていただきたいとの思いから制作。「託胎」から「涅槃」までの7作品すべてがパズル化されており、現在、好評販売中です。

◆「釈尊絵伝複製画」および「釈尊絵伝ジグソーパズル」は、どなたでも購入いただけます。当協会伝道部（電話：03-3435-5877）まで直接お問い合わせいただくか、公式サイト内「釈尊絵伝仏教聖画」ページより申込書をダウンロードの上FAXでお申込みください。
<https://www.bdk.or.jp/read/manabu/picture.html>

「託胎」から「涅槃」までの7作品すべてがパズル化されており、現在、好評販売中です。販売価格…B4サイズ（204ピース）2,500円（税別）、B5サイズ（70ピース）1,500円（税別）

06 Activity

「日めくりブツダせいかつ」
刊行



「日めくりブツダせいかつ」表紙

氏によるユーモラスに描かれた31の挿絵も話題を呼んでいます。
イラストだけを見て楽しむこともできますし、文章だけを読んで仏教に触れることも可能です。子どもと大人が一緒に読んで目標を持って毎日を楽しく過ごす。

し、生活の中で仏さまの教えを身につけながら心を育てていくための1冊です。
「日めくりブツダせいかつ」は、発売から7か月で累計販売部数が30,000部を超えるヒット作品となり、現在、275円(税込)で好評発売中です。

07 Activity

「仏教聖典のありがたいことば
キャンペーン」開催

令和元(2019)年3月より、「仏教聖典」全46カ国語版のPDFデータの掲載を公式サイト(<https://www.bdk.or.jp>)にて開始し、ご自宅でもインターネット上で「仏教聖典」を読んでもいただけるようになりました。

PDF版も含め、より多くのの方に「仏教聖典」を身近に感じていただきたい

「仏教聖典」の中で好きな教えやフレーズを人気SNSのTwitterにツイートして(つぶやいて)いただくという実にシンプルな企画ですが、一般の方から僧侶や仏教学の先生まで数多くの皆さんがキャンペーンに参加し、約4か月間で200

仏教聖典を読んで、カレーを食べよう!!

仏教聖典の
ありがたいことば
キャンペーン

2019年10月31日(木)まで

「ほとけさまのやさしい精進カレー」30食分を抽選で5名様にプレゼント!

— キャンペーン概要 —

みなさんは「仏教聖典」を読んだことがありますか?

『仏教聖典』はいままでに46か国の言語に翻訳され、全世界で920万冊発行されています。ホテルに宿泊した時に部屋でこのオレンジ色の聖典を見たことがあるという方も多いのではないでしょうか。また、書店の棚で見かけたり、仏教系学校に通っていてもらったという方もいらっしゃるかもしれません。

しかし、実際にじっくり中身を読んだことがあるという方はあまり多くないのではないのでしょうか?

『仏教聖典』の中にはブツダの素晴らしい教えがまじりこめられています。この書籍はいままでに数多くの著名な仏教学者による改訂を繰り返しながら現在の形ができています。

そんな『仏教聖典』に一人でも多くの人々に触れてもらいたい、そのような思いから、「仏教聖典のありがたいことば」キャンペーンを実施することになりました。

「仏教聖典のありがたいことばキャンペーン」掲載サイト

以上のツイートがありました。また、キャンペーンの賞品が1か月分の精進カレーだったこともあり、カレー

好きの方からのツイートも多かったようです。様々なツイートがあり、多くの方が改めて「仏教

08 Activity

『日々の生活に仏教を 仏教手帖 2020』発売

日常生活の中で、少しでも仏教にふれていただく機会をつくるため毎日手にする「手帳」からアプローチしました。

旅先で訪れた地域のお寺を参拝したり、御朱印を集めたり、美術館や百貨店で開催される仏像展に足を運ぶなど、仏教に関心を寄せ

触れる機会を提供するために制作したのが『仏教手帖 2020』です。月間カレンダーページには、その月の代表的な仏教行事の説明を、週間カレンダーには仏教に関する豆知識を、それぞれ各ページに掲載。また参拝時のマナー、仏教の基本的な教えについて、法事



『仏教手帖 2020』表紙

早見表、坐禅の組み方、仏像の見方など、イラストを交えて巻末にまとめました。写経や写仏のページ、付録のシールなどもあり、使う人が自由に書き込みや加工ができるようにしています。

◆『仏教手帖 2020』の販売は現在終了しており、今後の刊行予定については、



『仏教手帖 2020』 1月



『仏教手帖 2020』
精進料理についての
掲載ページ

公式サイトにてお知らせします。

◆当協会出版事業に関するお問い合わせ・書籍のご購入については、公式サイトをご確認ください。

<https://www.bdk.or.jp>

2 助成・表彰事業

「外国人留学生奨学金」制度のご紹介

仏教伝道協会では、「外国人留学生奨学金」および「日本人留学生奨学金」（通称・BDK奨学金）を設置し、仏教研究を志す皆さまを支援する奨学金事業を展開しています。

「外国人留学生奨学金」は、海外から来日し仏教研究をする外国籍の学者、研究者または学生に対して、それ

ぞれが自国に戻り、日本で学んだ仏教精神、文化等を、学問を通じ、ひろく世界に伝えていただきたいとの願いから平成3（1999）年に設立されました。

第30回目となる令和2（2020）年の奨学生は、2020年2月に開催された審査委員会により、左記3名に決定しました。

第30回令和2（2020）年「外国人留学生奨学金」受給者申し込み順

●Choten Dorji (チョーテン・ドルジ)

国 籍：ブータン
所属機関：京都大学
指導教授：宮崎泉教授
研究内容：塞建陀羅著『入阿毘達磨論』に対する注釈 Sarasamuccaya の訳注研究

●Liyu Hua (華教授)

国 籍：中国
所属機関：東京大学
指導教授：馬場紀寿教授
研究内容：初期仏教注疏伝統の発展
小部・Ksudraka Agama の韻文注疏における研究

●Jonathan Edward Thumas (ジョナサン・エドワード・スミス)

国 籍：アメリカ
所属機関：東京大学史料編纂所
指導教授：菊池大樹准教授
研究内容：院政期の「別所」の成立と中世仏教の展開

第29回

令和元(2019)年

外国人留学生奨学金受給者

- 1 仏教伝道協会の奨学金制度への応募のきっかけ
- 2 受給して最も良かったと思うこと
- 3 今後の展望

◇LU LU (盧 鷺)

国 籍：中国
所属機関：創価大学・国際仏教学高等研究所
指導教授：辛嶋静志教授（辛嶋教授の急逝後は工藤順之教授）
研究内容：後漢代非大乗漢訳仏典の校訂本および詞典作成



故辛嶋教授（左から2番目）Lu氏（左）

1 私は、早期の漢訳仏典に関する研究を行っていました。これらの漢訳仏典においては（特に安世高の訳経）、特別な用語が多く、当時の口語が忠実に記録されています。特に、同時期の漢籍用語と大きな差がある為、サンスクリット語とパリー語との対照研究を行い、これらの漢訳仏典を正確に解読することが可能となります。私を受け入れて下さった辛嶋静志教授は、仏教文献学の専門家であり、近年早期の漢訳仏典と中期印度語に関する研究を進めておられ、研究対象及び研究目的が私の研究とも近く、共同研究を行うことが可能であると考えた為、応募させていただきました。

2 まず、BDK奨学金を受給できたこと自体に感謝

しています。理想的な環境で研究を進める機会をいただけただけのこと、幸運にも辛嶋教授の指導を受けられたこと等、大変有難く御礼を申し上げます。しかしながら辛嶋教授が2019年7月23日に急逝され、日頃からお世話になっている研究員として偉大な指導者を失ってしまいましたことは非常に辛

く悲しい事でした。そのような時にも仏伝道協会は以前と変わりなく私を支援してくださり、引き続き同研究所の工藤順之教授の元

で研究を続けられるよう配慮してくださいました。仏

伝道協会の支援の下、日本でこのような機会を与えていただき、皆様に心から感謝しています。

3 これからは、更に仏教文献言語学の研究に専念し、特に早期中国漢訳仏典の用語に関して、専門用語辞書の編纂や校訂本の作成をしたいと考えています。言語学に関する研究を通して、漢訳仏典をより正しく理解し、仏典の翻訳が与える東アジアの言語や文化への影響を更に深く学んでいければと思っております。

◇Anthony Robert Scott

(スコット・ロバート・アンソニー)

■国 籍：カナダ

■所属機関：東京大学東洋文化研究所

■指導教授：馬場紀寿教授 藏本龍介准教授

■研究内容：20世紀初期ビルマのヴィパッサナー瞑想の先駆者、ムーラ・ミンゲン・ジェタバナ長老 (1868—1954) による『ミランダ問経』

のパーリ語註釈である『ミランダ王問経註釈』 (Milindapañha-atthakatha) を研究予定

※スコット氏は2020年3月末に来日し、日本の生活を開始して間もない

為、詳細は次号に掲載させていただきます。ご了承ください。

◇Maxwell Joseph Brandstadt

(ブランドスタット・ジョゼフ・マックスウェル)

■国 籍：アメリカ

■所属機関：東京大学大学院人文社会系研究科・

インド哲学仏教学研究室

■指導教授：下田正弘教授

■研究内容：浄影寺慧遠の『大般涅槃經義記』と一聞提

1 仏伝道協会の奨学金制度への応募のきっかけは、中国の隋唐時代における仏教史についての研究を行うことでした。仏伝道協会の奨学金のおかげで、日本に来て、中国仏教に関する研究者のところで勉強

2 仏伝道協会の奨学金は、素晴らしい奨学金制度

だと思っています。一番大切なことは、私の研究テーマに集中した研究計画を立てられることです。このような自由度の高い奨学金は珍しく、私にとって特別な機会であることは間違いありません。

3 仏教史に関して研究を進め、将来的には、学術的な仕事をしていけたらと考えています。その仕事の中で、国際的な舞台に仏教と東アジアの思想史の理解を広めていければと思っております。



Brandstadt氏

令和元年(2019)年度の主な活動

「日本人留学生奨学金」制度のご紹介

「日本人留学生奨学金」は、日本から海外へ渡り国際的な視野を養い、将来の仏教学術振興に貢献しうる日本人の若手研究者を育成したいという願いから、平成24(2012)年に設立

されました。

第8回目となる令和2(2020)年のBDK奨学生は、2020年2月に開催された審査委員会により、左記4名に決定しました。

第8回令和2(2020)年「日本人留学生奨学金」受給者申し込み順

〈1年留学支援〉

●石村美幸(1年)

留学先：オーストリア科学アカデミー(オーストリア)

〈短期留学支援〉

●京極祐希(3カ月)

留学先：フランス国立高等研究実習院(フランス)

●富永曜照(5カ月)

留学先：カリフォルニア大学バークレー校(アメリカ)

●渡邊眞儀(4カ月)

留学先：アシヨールカ大学(インド)

第7回

令和元(2019)年

日本人留学生奨学金 受給者

- 1 仏教伝道協会の奨学金制度への応募のきっかけとして最も良かったと思うこと、今後の展望
- 2 海外の生活で一番気に入っているところ(または驚いたところ)
- 3

〈1年留学支援〉

◆藤本庸裕(ふじもと・ようすけ)

■所属機関：ハンプルク大学アジア・アフリカ研究所
インド学チベット学研究室

■指導教授：Harunaga Isaacson教授

■研究内容：説一切有部の煩悩論

1 指導教授の山部能宜先生が盛んに海外に行くことを勧められており、個人的にも

海外の仏教研究に関心がありました。同じ時期にハワイド・

2 最も良かった点は海外の仏教研究の現状を知り、新進気鋭の研究者たちと知己になれたことです。今後は中国まで範囲を広げ、より包括的な仏教思想史の研究をしていきたいと考えています。

3 ドイツと言えばインド学の本場ですので、梵語辞典も近くの書店で簡単に買えるだろうと思っていましたが、書店自体があまり無く、デジタル化やオンライン化が進んでいた点に驚きました。



藤本氏(左) Isaacson教授(右)



〈短期留学支援〉

◇矢崎 長潤 (やざき・ちやうじゆん)

■所属機関：フィリップ・マールブルク大学 (ドイツ)

■指導教授：Jürgen Hanneder教授、habilit. Dragomir Dimitrov博士

■研究内容：『チャンドラ文法詳解』 (Cāndravākarānapanīkā) の研究



Dimitrov博士 (左) 矢崎氏 (中央) Hanneder教授 (右)

1 わたしは、デイミトロフ博士らとともに『チャンドラ文法』の未出版注釈書の研究に従事しています。

2 制度に応募してみたらどうか、と勧められました。日常の雑事に気を取られることなく研究に専念できるのが、海外にいるメリツトの一つといえるかもしれません。その一方で、経済的問題が生じますが、本制度により研究に没頭できる環境をいただくことがで

きました。最初の1ヶ月間だけです。息子(8歳)「キルメス(移動遊園地)がすごい」。娘(6歳)「ドイツ人の友達ができた」。妻「ライ麦パンが美味し」。わたし「ヴァイスビア(白ビール)最高」。

3 学生奨学金はサポートが大変充実していたため、応募させていただきました。研究会では、ドルモータラの Pramaṇavinīṣ-cayāṭīkaのクリティカルテキスト作成とその翻訳を行っていました。今後サンスクリット資料を基にした研究が進められていく上で、先んじてその資料に触れたことは大変有意義であったと感じています。

◇道元 大成 (みちもと・だいせい)

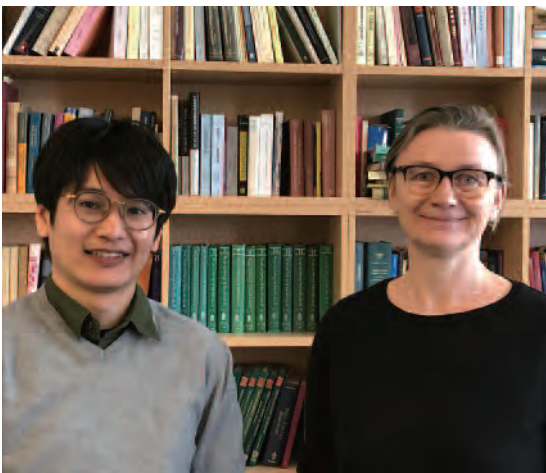
■所属機関：オーストリア科学アカデミー

■指導教授：Brigit Kellner教授

■研究内容：非認識論証因

1 自身の研究分野である非認識論証因に関して、その第一人者である Brigit Kellner氏に指導を仰ぐため、またオーストリア科学アカデミーは、仏教論理学派を含めたインド諸学派の研究が盛んであるため、留学を考えた。その際に、仏教伝道協会の留

道元氏は、仏教伝道協会の留



道元氏 (左) Kellner教授 (右)

道元氏は、仏教伝道協会の留

3 ウィーンは歴史的な町並みを残しつつも、適度に都市開発がなされており、交通網も整備され、治安も安全であったため、現地での生活は非常に快適でした。

B D K 奨学金 「奨学生交流会」開催

於 仏教伝道センタービル 2019年7月10日



交流会出席者

「外国人留学生奨学金」および「日本人留学生奨学金」を柱とする奨学金事業(通称・B D K 奨学金)は、それぞれ設立より30年目、8年目を迎えました。

過去のB D K 奨学金受給者の多くが、現在では世界各国の教育機関をはじめとする第一線で活躍しています。今後、より一層の制度の充実化を図り、円滑に研究をすすめていただき、奨学生や指導教授同士が互いに交流できる場を提供するた

めに、新たに来日した方、これから留学する方、日本に滞在中の受給者などを招き「奨学生交流会」を開催しています。

今回は、令和元(2019)年「外国人留学生奨学金」受給者および指導教授を中心として、11名の奨学生(過去受給者も含む)、3名の指導教授が出席の上、各自の自己紹介と現在の研究内容や今後の展望等を発表していただきました。更にB D K 奨学金を支える審査委員の先生がたにも同席いただき、当協会と奨学金制度の歴史を踏まえ、今後仏教研究を志す皆さまが継続的に活躍いただけるよう支援していく旨で一致し

※「外国人留学生奨学金」および「日本人留学生奨学金」制度について、過去の受給者実績や今後の募集についての詳細は、公式サイトをご確認ください。
<https://www.bdk.or.jp>

第53回「仏教伝道文化賞」贈呈式 開催

於 仏教伝道センタービル 2019年10月17日

第53回「仏教伝道文化賞」贈呈式ならびに祝賀披露宴を執り行いました。

「仏教伝道文化賞」受賞

者の藤田徹文氏(浄土真宗本願寺派光徳寺前住職)は、「特別なことは何もしてありません。与えられた仕事

に対し、前を向いて走ってきただけ。周りの人には辛い思いをさせましたが、それ以上の人たちに支えられ

ここに立っている。私のような者を選んでくださった。それだけで胸がいつぱいです」と自らの半生を振り返り、最後には「受賞には大変驚きました。法話会に呼んでもらい全国を回りましたが、一人ではできなかつたこと。ご縁があつてこそできることです」と周囲への感謝を語ってくださいました。

「仏教伝道文化賞沼田奨励賞」を受賞した森村森鳳氏（同朋大学教授）は、文化大革命を体験した少女時代を振り返り、「人間存在の悪について、生きる意味についての問いかけが私を捉え続けていた」と回想。「私に光を当てて下さった。今後も努力していきたい」とスピーチを締めくくりました。

◆「仏教伝道文化賞」の詳細や過去の受賞者情報は、公式サイトをご確認ください。

<https://www.bdk.or.jp>

第53回「仏教伝道文化賞」受賞関係者



仏教伝道文化賞

藤田 徹文（ふじた・てつぶん）

受賞理由：信心の社会性を提唱。伝道書を多数執筆し全国を布教する等、伝道一筋に努めた。



沼田奨励賞

森村 森鳳（もりむら・しんほう）

受賞理由：親鸞思想を研究し『教行信証』を中国語に翻訳・出版。講演等、広く発信。



令和元（2019）年度「助成金事業」報告

仏教伝道協会では、当協会の公益事業目的に賛同し、国内外にて積極的な活動を行っている個人および団体を支援するため、活動助成金を交付しています。

は、36件の団体・個人から申請があり、公正な審査の上、27の個人・団体への助成金交付が決定しました。当協会の「助成金制度」についての詳細は、公式サイトをご確認ください。

令和元（2019）年度

<https://www.bdk.or.jp>

■ A. 団体支援助成

団体名	申請事業名
日本印度学仏教学会	学会の情報化対応を通じた国際的学術交流及び文化貢献の促進事業
特定非営利活動法人 鎌倉てらこや	大学・寺社・行政・市民ボランティアの協働による地域コミュニティ再興事業
日印文化交流ネットワーク	仏教を核とする日印文化交流ネットワーク構築並びに日印文化交流促進事業
フリースタイルな僧侶たち	フリースタイルな僧侶たち フリーペーパーの発行、WEB、イベント開催事業

■ B. 事業支援助成：B-1 仏教精神・文化普及活動及び人道支援活動

団体名	申請事業名
北海道東北臨床宗教師会	電話相談事業
一般社団法人 寺子屋ブッダ	寺子屋學（地域に開かれた寺院を運営しようとする僧侶向けの各種研修講座及び、Webサイトからの有益情報提供）
一般財団法人 本願寺ピハハラ医療福祉会	医療者と協働できる僧侶の育成事業
十夜フェス実行委員会	十夜祭-JU YA FES-実行事業
NPO日印交流を盛り上げる会	もっと知ろうー婆羅門僧菩提偈那を継承するー運営事業 (インド政府ICCR派遣インド舞踊・音楽団奉納公演)
一般社団法人 向源	寺社フェス「向源」実行事業
公益財団法人 全国教誨師連盟	教誨師研修事業
全日本仏教青年会	ティク・ナット・ハン/プラムヴィレッジ僧侶団との交流 マインドフル・リトリート国際仏教研修会
一般社団法人 日本臨床宗教師会	臨床宗教師継続教育事業
一般社団法人 Project Gamon	仏教フリーマガジン「わけんせ」発行事業
仏教文化資源研究会	「らかん仏教文化講座」事業
公益財団法人 全国青少年教化協議会	臨床仏教師育成及び施設等への派遣事業

■ B. 事業支援助成：B-2 仏教学術振興活動

団体名	申請事業名
龍谷大学 龍谷ミュージアム	2019年度 秋季特別展「日本の素朴絵ーゆるい、かわいい、たのしい美術ー」開催事業
公益財団法人 中村元東方研究所	2019年度研究調査事業
Klaus-Dieter Mathes University of Vienna (オーストリア)	日墺友好150年記念シンポジウム「南アジア学・チベット学・仏教学の日本・オーストリア友好の祝賀」開催事業
Jørn Borup Arhus University (デンマーク)	学術会議「ヨーロッパにおける日本仏教」開催事業
日本仏教看護・ピハハラ学会	日本仏教看護・ピハハラ学会 第15回 年次大会開催事業

■ B. 事業支援助成：B-3 仏教文化財保護活動

団体名	申請事業名
学校法人 身延山大学	ラオス・ルアンパバン世界遺産仏像修復技術者育成プロジェクト実施事業
野生司香雪画伯顕彰会	サールナート（インド）野生司香雪の仏伝壁画保全事業

■ C. 沼田仏教講座運営維持・新規開設支援助成

団体名	申請事業名
The University of Chicago Divinity School (アメリカ)	沼田仏教講座活動助成事業
Leiden University (オランダ)	沼田仏教講座活動助成事業
National Chengchi University (台湾)	沼田仏教哲学プログラム設立事業
McMaster University (カナダ)	沼田仏教講座設立事業

01 Activity

第49回「実践布教研究会」開催
於 高野山真言宗総本山金剛峯寺 2019年5月29日～31日

大講堂での開講式

第49回「実践布教研究会」〔令和元（2019）年5月29日～5月31日〕は「布教伝道―空海上人に学ぶ」をテーマに、高野山真言宗総本山金剛峯寺（和歌山県伊都郡）にて開催。全国各地より様々な宗派の僧侶、寺族ら46名が参加し、講話の拝聴や阿字観などの修行を体験した後、「分科会」での議論で学びを深めました。

実践布教研究会前日の5月28日には、浄土真宗本願寺派本願寺津村別院（大阪市中心区）において、希望者を募り「前日分科会」を開催しました。10名が参加し、本番前日から熱い議論が交わされました。

研究会初日の開講式では、総本山金剛峯寺第414世座主・高野山真言宗管長葛西光義猊下にご臨席を賜りお言葉を頂戴した後、勤行や『般若心経』についてご指南をいただき一日目を終えました。二日目には橋本真人師（総本山金剛峯寺執行・高野山真言宗教学部長）、松永潤慶師（高野山大

学教授）、佐藤隆彦師（高野山大学教授）の講義や阿字観の指導など、充実したプログラムを通じ「済世利民」の教えを、身をもって経験させていただきました。最

終日の奥之院参拝では、御廟の前で『般若心経』をお唱えし、厳かな気持ちで第49回「実践布教研究会」を終えました。



奥之院参拝



参加者による勤行

02 Activity

「特別坐禅会」開催
於 曹洞宗大本山總持寺

2019年6月1日

気軽に寺院へ訪れる機会を増やし、仏教精神や
仏教文化に触れていただくため坐禅とヨガと精進
料理を体験する講座を開催しました。



花和師による法話



綿本氏(中央)と音楽ユニット「Pranada」

曹洞宗大本山總持寺(横
浜市鶴見区)で、ヨガと坐禅
と精進料理を体験してい
ただ「特別坐禅会」は、今年
で開催4年目となりました
。今回のヨガ講師には、日
本ヨガ界の第一人者である
綿本彰氏をお迎えし、10
0名を超える方からの申し
込みがありました。
今回は初の試みとして、

ヨガの時間に音楽ユニット
「Pranada」によるインドの
古典縦笛バンスリーとシ
ンセサイザーの演奏が加わ
りました。演奏が始まると
總持寺の大講堂の雰囲気
が一変し、ヨガにより集中
できるようでした。
ヨガの後は花和浩明師
(大本山總持寺布教教化部
参禅室長)による法話です。

總持寺の歴史と曹洞宗の基
本的な教えについて拝聴
し、その後は坐り方の説明
を受けて、参加者は坐禅堂
へ移動して約20分間坐禅を
組みました。参加者の大半
にとつて、はじめての坐禅
でしたが、「もつと長くやり
たい」という声が多く寄せ
られました。坐禅の後は、希
望者のみ精進料理の昼食と
諸堂を拝観。お寺で過ごす
一日を楽しんでいただきま
した。



諸堂参拝

03 Activity

FM大阪 「笑い飯 哲夫のサタデーナイト仏教」 公開収録 於 三津寺 2019年6月9日



公開収録後の記念撮影



哲夫氏によるお話

平成30(2018)年6月から放送を開始したラジオ番組「仏教伝道協会Dressings笑い飯 哲夫のサタデー★ナイト仏教」の1周年を記念した公開収録を、真言宗御室派三津寺(大阪市中央区)にて行いました。

毎週土曜日の深夜24時55分から25時までの5分間という短時間、さらに関西地域のローカル番組でありながら、ポッドキャストで日本全国、ときには海外からも視聴していただいている「笑い飯 哲夫のサタデーナイト仏教」が令和元(2019)年6月で放送開始1周年を迎えました。それを記

念した公開収録イベントを、大阪・心斎橋の三津寺で行いました。

番組で観覧希望者を募り、174名の応募者から70名が当選。年齢層は10代から60代までと幅広く、なかでも哲夫氏のファンの40代の女性が多く見受けられました。

FM大阪の人気DJの小

早川秀樹氏を司会進行に、哲夫氏による仏教についてのお話、そして加賀俊裕師(三津寺副住職)とのクロストーク、最後は、参加者からの質問コーナーという3部構成で進みました。番組ではカットされてしまうような、哲夫氏ならではの自由なトークに会場はたいへんな盛り上がりを見せ、約1時間の収録後には参加者全員と三津寺の境内で記念撮影。その後も副住職には、参加者からのお寺や仏教に関する質問にお答えいただき、参加された方はそれぞれ、仏教への思いを深めたようです。

公開収録の様子は、2019年7月に2回にわたって放送され、また参加者によるSNSへの投稿やウェブ媒体を中心にした取材記事などにより、多くの方へ番組について知っていただく機会となりました。



子ども達に笑顔で語りかける細川師

05

Activity

「お寺でヨガと坐禅をやってみよう！」開催 於 龍雲寺 2019年7月29日

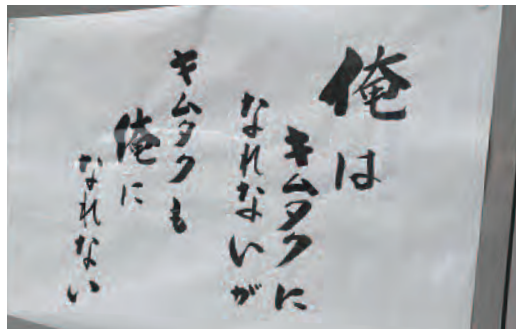
日常生活の中でお寺に行く機会が少ない子ども達に
お寺や仏教に親しんでもらうため、ヨガと坐禅を体験す
るイベントを開催しました。

夏休み期間中にお寺で楽しい時間を過ごしてもらいたいと、当協会初の試みで、小学生を対象に講座を開催したところ、約30名の申し込みがあり、保護者の方々に連れられた元気な子ども達が集まりました。
会場は臨済宗妙心寺派龍雲寺。世田谷の閑静な住宅



櫻井氏によるヨガレッスン

ズヨガ講座です。講師は子ども向けのヨガ教室を定期的に開催している櫻井麻美氏をお迎えしました。子ど



2019年で最も反響の大きかった文言

04

Activity

仏教伝道センタービル入口に「掲示板」設置

令和元(2019)年7月より仏教伝道センタービル入口に「掲示板」を設置しました。

当協会の掲示板には、寺院に設置されている掲示板同様、伝道標語を掲示する他、当協会主催の講座・イベント等の案内を掲示して

います。掲示する文言は週ごとに入れ替えており、内容は「仏教聖典」から引用した言葉や仏教的な詩歌、著名人の名言、「俺はキムタク

にはなれないが、キムタクも俺になれない」といったユニークなものまで様ざまです。こちらの「俺は・・・」の掲示は、当協会のインスタグラムでも、2019年で最も多くの「いいね！」をいただきました。

前を通りかかる方の中には、写真を撮り、SNSに投稿する人もいるほどで、掲示板をきっかけに、仏教をより身近に感じていただく機会が増えているようです。当ビル近隣に足を運ぶ機会がある方、インスタグラムやフェイスブックなどのSNSをご利用の方は、是非当協会の「掲示板」にもご注目ください！

06 Activity

「親子で学ぶ精進料理教室」開催

於 浅草・おいしいのつくりかた

2019年8月4日



夏休みの特別企画のひとつとして、親子を対象とした「親子で学ぶ精進料理教室」を開催しました。講師に麻生怜菜氏(日本食文化史・精進料理研究家)をお迎えし、精進料理のお弁当を作っていたく特別講座です。

子ども達と保護者を対象とした講座は、当協会では初めての試みでしたが、当日は、観光客で賑わう浅草のクッキングスタジオにて、下は3歳から上は12歳までの幅広い年齢層の16名の参加者が、「精進料理とは何か」を学んだ上で、実際に様々なメニューを調理。各自わっぱの弁当箱に料理を盛り付けました。

今回のメニューは、おにぎり2種(紫蘇ごはん、玉蜀黍ごはん)、ズッキーニ

のきんぴら、茗荷とオクラの甘酢漬、夏野菜と高野豆腐の炒め物、高野豆腐の串カツ、車麩の唐揚げ、と盛り沢山。最初は不安そうだった子ども達も麻生先生の笑顔溢れる指導で、元気いっぱい楽しんでる様子でした。普段は全く興味のない野菜も頑張つて、嬉しそうにお代わりしてくれました。それぞれのセンスが光る可愛らしいお弁当の数々。わっぱのお弁当箱を初めて見る子ども達も

も達の心をぐつとつかむお話をスタートし、徐々に体を動かしていきます。真剣にポーズをとる子、友だちと一緒に笑顔で体を動か

す子、1年生から6年生まで、それぞれが自分のペースで楽しみながら体を動かしていました。夏休みの思い出は大人になつてもずっと残るもの。参加した子ども達にとつて、お寺が「また行ってみたい」と思える楽しい場所になれば幸いです。

り、記念にお弁当箱を持ち帰る子も。あちらこちらで、お弁当を囲み家族と一緒に記念撮影をする姿も見られ、美味しい精進弁当を通じて「食の大切さ」を考へる、夏休みの貴重な体験となつたようです。



家族と一緒に記念撮影



真剣に説明を聞く子ども達



紙芝居『ブツダ』完成披露ショー

07 Activity

紙芝居『ブツダ』(手塚プロダクション監修)の完成
披露イベント 贈呈式&紙芝居ショーの開催
於 仏教伝道センタービル 2019年10月1日

この度当協会では、手塚プロダクション監修のもと、世界初となる紙芝居『ブツダ』および「釈尊絵伝パズル」を作成し、全国の仏教系幼稚園・保育園約2,500施設に寄贈しました。

作品の完成を記念して、令和(2019)年10月1日に紙芝居およびパズルの贈呈式とプレスリリースイベントを開催しました。

派の保育連盟の代表者に贈呈されました。紙芝居は、原作である漫画『ブツダ』製作当時の画風に近いタッチで描かれ、原作の世界観と釈尊の伝記を同時に楽しめる作品となっており、紙芝居を受け取った高山久照師(日本仏教保育協会理事長)は「子どもたちにも手に取りやすい

教材。十分に活用して、思いやりのある豊かな仏の子を育てたい」と評価。後半では、「渋谷画劇団」による紙芝居口演(公演)が行われ、4名のプロ声優が紙芝居を演じ、来場者を巻き込んだ迫真の演技で会場全体を感動に包みました。

今回製作した紙芝居およびパズルの活用を通じ、幼いうちから、釈尊の生涯に触れ、仏の教えに慣れ親しむ機会を提供できればと願っています。

08 Activity

第5回「沼田智秀仏教書籍
優秀賞」受賞者記念講演
於 龍谷大学・東京大学
2019年10月4日・9日

沼田智秀仏教書籍優秀賞は、仏教研究の発展の支援を目的として、カリフォルニア大学バークレー校仏教学センターと協力し、毎年、英語で執筆された仏教学術書の中から優秀な作品を選定し表彰するものです。

令和元(2019)年度は、『A Yogācāra Buddhist Theory of Metaphor』(オックスフォード大学出版、2018年)を上梓し、2018年 Toshi Awardを受賞



東京大学での講演

れたRoy Tzohar氏（テルアビブ大学准教授）の来日講演を開催しました。
 「What Metaphors Mean and Do within Buddhist Philosophical Texts?」（仏教哲学書の中で比喩は何を意味し、どう働くのか？— 唯識の視点から考える）をテーマに、下記の日程で龍谷大学・東京大学にて2回にわたって講演。仏教学研究の最先端を披露していただきました。

■龍谷大学

日時：2019年10月4日（金） 15時～16時30分
 場所：龍谷大学 大宮学舎
 参加者：20名

■東京大学

日時：2019年10月9日（水） 15時30分～17時
 場所：東京大学 国際学術総合研究棟
 参加者：65名



参加者に説明をする塩入師（浅草寺）

09 Activity

「体感する仏教く浅草編く」開催
 於 浅草寺・緑泉寺 2019年11月9日

仏教の教えを「体感する」をテーマに「体感する仏教く浅草編く」を開催しました。

今回は、昨年港区芝で行った第一回目に続いての開催となりましたが、前回も参加いただいたリピーター

今回は、昨年港区芝で行った第一回目に続いての開催となりましたが、前回も参加いただいたリピーター

第一部の浅草寺では「浅草寺DEEP（ディープ）ツアー」と題し、当協会主催の定例講座「仏教聖典を生活に活かす会」の講師でもある塩入亮乗師（聖観音宗浅草寺法善院住職）に本堂内や境内だけでなく、普段は拝観することができない地下の宝物館も案内していただき、1400年におよぶ浅草寺の詳しい歴史やそれまつわる法話をじっくり伺うことができました。

第二部の緑泉寺では「精進料理とその心を味わう」と題し、精進料理の本を多数執筆されている青江覚峰師（浄土真宗東本願寺派緑泉寺住職）による手作りの精進料理を参加者全員で味わった後に「食」に関する法話を拝聴しました。終了後のアンケートには、来年もぜひ参加したいという声が多く寄せられ、満足度の高いイベントとなりました。

10
Activity

第19回 「仏教音楽祭Buddhaspel(ブッダスペル)
Rediscover of Japanese Tradition」
能・狂言と仏教のタベ」を開催
於 セルリアンタワー能楽堂 2019年11月14日



野村萬齋師(右)と逸見道郎師(左)との対談



浄土僧を演じる野村萬齋師(左)と
法華僧を演じる野村太一郎師

令和元(2019)年11月14日に第19回「仏教音楽祭Buddhaspel(ブッダスペル) Rediscover of Japanese Tradition」能・狂言と仏教のタベ」をセルリアンタワー能楽堂(東京都渋谷区)にて開催しました。

今回は伝統芸能をテーマに、能・狂言のルーツと言われる「法華八講(論議)」を聖観音宗総本山浅草寺貫首

田中昭徳猊下と同寺僧侶方により実演いただきました。

そして、野村萬齋師(狂言方)和泉流能楽師、俳優と逸見道郎師(仏教伝道協会音楽普及委員会委員長)には、伝統芸能に根差す仏教思想についてお話を伺いました。

その後、観世喜正師(能楽師、観世流シテ方)が、僧侶が人買い商人から少女を助ける観阿弥作の「自然居士」を厳かに演じると会場からは盛大な拍手が起り、野村師が、法華僧侶と浄土僧侶のやりとりをコミカルに描いた「宗論」を公演すると会場は笑いに包まれました。

伝統芸能と仏教が深く関わる演目を上演するという初の試みでありましたが、ご来場の皆さまには存分に論議、能・狂言の雰囲気味わっていただけたようです。

11

Activity

「英語で学ぶ精進料理教室」開催

於 浅草・おいしいのつくりかた

2019年11月20日



調理後の記念撮影



参加者を指導する青江師（奥）



助け合って調理をする参加者



雲片汁



ほうれん草の胡麻和え、アスパラガスの白和え

主に外国籍の方を対象とした「英語で学ぶ精進料理教室 Japanese Buddhist Vegetarian Cooking Class」を開催しました。講師に青江覚峰師（浄土真宗東本願寺派緑泉寺住職）をお迎えし、日本に住む外国人や英語や精進料理に興味のある日本人に、英語で精進料理の調理に挑戦していただく特別講座です。

英語での精進料理教室は、当協会では初めての試みとなりましたが、当日は、様々な国籍や背景をもつ計15名（外国籍…8名、日本人籍…7名）に参加いただき、「精進料理とは何か」を学びつつ、実際に様々なメニューを調理し、召し上がっていただきました。

今回のメニューは、お麩じやが、ほうれん草のお浸し、アスパラガスの白和え、雲片汁とご飯です。青江先生のフレンドリーな指導のお蔭で、皆さま笑顔で、精進料理も英語でのコミュニケーションも楽しんでる様子でした。英語は全く話せないという参加者も、各グループで助け合いながら料理を完成させていく中で、身振り手振りも交えながらコミュニケーションを取り合い、一つのテーブルを囲んで楽しんでいく味わっていました。

は、菜食主義者用の食材を扱う店やレストランが少なく、外食には困る事が多々あるとの意見も。折角、日本に住むのであれば、単なる菜食主義に留まらず、精進料理の「無駄のない、食材を大切に」する「考え方を学び、食材ひとつひとつに感謝の気持ちを持つ」上で作った料理を有り難く味わっていただきたい、そのような思いを体感していただく機会となりました。



映画「典座」



スペシャル精進ランチ



いす坐禅前に身体をほぐす参加者

12

Activity

特別講座「食を通じて仏教を学ぶ」 映画「典座」×精進フレンチ

於 東京グランドホテル 2020年2月15日

特別講座「食を通じて仏教を学ぶ」を開催しました。本講座は、全国曹洞宗青年会製作による映画「典座」の上映とフレンチシエフである僧侶が提供するスペシャルランチを組み合わせた、様々な仏教の側面に触れる事が出来る特別講座です。

当日は68名の方にご参加いただき、約3時間にわたるプログラムを体験していただきました。映画「典座」の上映をメインとした第一部では、講師に映画の主演を務めた河口智賢師(曹洞宗耕雲院副住職)をお招きし、まずは、いす坐禅で心身を整えた上で、「典座」に対する思いや海外映画祭での秘話などを伺いつつ、「食を通じて信

仰を考える」機会を与えていただきました。

第二部では、オーベルジュにてフレンチシエフも務める折橋大貴師(曹洞宗常泉寺副住職)をお迎えし、スペシャル精進ランチを提供いただきました。精進料理と云えば、いわゆる質素な和食膳を思い浮かべられる方も多いかと思いますが、今回いただいたのは、食の欧米化に慣れた現代人にも食べやすい、洋風精進料理で、メニューは、季節野菜のサラダ(パプリカ

ドレッシング)、蕪と白菜のポタージュ、里芋の唐揚げ、精進カレー、豆乳杏仁豆腐(苺ソース)です。参加者へは全てのメニューのレシピを提供し、食材ひとつひとつを思いながら味わっていただきました。

世界的に食の多様性が求められる時代となり、菜食主義を実践する方も増えてい

ます。菜食主義のみならず、精進料理の「食材自体を無駄なく大切に消費する」考え方を学び、そして何事にも感謝の気持ちを持つて接する。多くの参加者から「食べる」と言う生きる上で欠かせない行為から自分自身の在り方を見つめ直す貴重な体験になった」との感想をいただきました。

13

Activity

各種講座のご案内

当協会では事業の目的のひとつに「仏教精神とその文化興隆の為の啓蒙活動」を掲げており、各種講座を主催しています。

▼仏教聖典を

経営に活かす会

経営者の方には人を大切にする経営を、一般の社会

人の方がたには人生の道標の一助となるように、仏教が持つ東洋の叡智と慈悲の精神に一人でも多くの人が



仏教聖典を経営に活かす会（講師：一樂眞師）

触れていただくための講座です。前年度に引き続き中野東禪師（曹洞宗竜宝寺前任職）、新たに一樂眞師（大谷大学教授・真宗大谷派宗円寺住職）の両氏をお招きし、月1回（第4金曜日18時〜）開催しました。

を目的に「仏教聖典」をテキストとしたお話と、和やかな雰囲気の中で仏教精神に触れられる勉強会を開催しています。前年度に引き続き塩入亮乗師（聖観音宗浅草寺法善院住職）、小山二行師（浄土真宗本願寺派香覚寺住職）の両氏をお招きし、月1回（第4火曜日13時半〜）開催しました。

▼仏教ヨガ講座

宗派にとらわれず、仏教精神を日常生活に活かすこと

▼仏教聖典を

生活に活かす会

丁寧に指導していただきました。

仏教とヨガの側面から、穏やかで健康な生活を過ごしていたいただくため、ヨガ講座を主催しています。ガッツ有香師（浄土宗誓願寺副住職）を講師にお招きし、月1回（第1水曜日19時〜）開催、初心者でもヨガを通じて心と身体の声に耳を傾けられるよう、わかりやすく

14

Activity

仏教初心者講座「一から学ぶ日本の仏教」年間開催報告

於 TKPガーデンシティPREMIUM池袋

仏教初心者講座「一から学ぶ日本の仏教」は、日本の仏教宗派における教義や歴史、宗祖の生涯などを各宗派の基本を学んでいただける講義で、平成28（2016）年から続く人気講座の一つです。

令和元（2019）年度は、池袋にて開催。講座内容は、これまで同様、各宗派に

道協会ならではの宗派を超えた仏教入門講座となりました。

関する基本講義を中心に、講師の実体験に基づく法話を織り交ぜながら、仏教伝

は、会場へのアクセスの良い神奈川県エリアの方がた

に多数ご参加いただきましたが、今回の池袋開催では、埼玉県にお住まいの多くの方へ仏教に触れる機会を提供することが出来ました。

参加者からは、2時間は長いと思ったが、お話が楽しくあつという間だった。修行の写真や映像など興味深い資料も多く、よく理解することができたなどの声が

令和元年(2019)年度の主な活動

2019年開催実績

開催月	テーマ	講師
4月	天台宗・最澄	木内堯大 師 (大正大学特任准教授)
5月	真言宗・空海	松島龍戒 師 (高野山真言宗功德院住職)
6月	浄土宗・法然	吉田龍雄 師 (浄土宗蟠龍寺副住職)
7月	浄土真宗・親鸞	前田壽雄 師 (武蔵野大学通信教育学部准教授)
10月	臨済宗・栄西	細川晋輔 師 (臨済宗妙心寺派龍雲寺住職)
11月	曹洞宗・道元	千葉公慈 師 (曹洞宗宝林寺住職)
12月	日蓮宗・日蓮	早島英観 師 (日蓮宗妙福寺住職)



4月 (木内堯大師)



5月 (松島龍戒師)



6月 (吉田龍雄師)



7月 (前田壽雄師)



10月 (細川晋輔師)



11月 (千葉公慈師)



12月 (早島英観師)



特別編：平岡聡氏による講義

踏まえ日本仏教において比較されることの多い浄土宗と日蓮宗を法然と日蓮の思想や考えをさまざまな視点から比較考察しました。参加者からは、難しい内容を分かりやすく解説してもらえ法然と日蓮の大きな違いと共通点が分かった、対比することで、よりお二人の考えや思想がはつきりと際立ち同じ時代に生きていたと感ずることが出来た、などの感想をいただきました。

寄せられました。
尚、令和2(2020)年度は、秋葉原での開催を予定していましたが、コロナウィルス感染拡大防止の観点より、やむを得ず中止とさせていただきます。

初級から中級へ 仏教初心者講座 「一から学ぶ日本の仏教」 特別編 開催!

特別編 — 南無阿彌陀仏と南無妙法蓮華經の比較
於 仏教伝道センタービル 2019年2月2日

昨年度より「初心者講座」だけでなく、もう一歩踏み込んだ仏教の勉強がしたいという参加者のご要望にお応えし、仏教初心者講座「一から学ぶ日本の仏教」特別編を開催しています。
前回は「奈良仏教と平安仏教」について取り上げ、今回

は「南無阿彌陀仏と南無妙法蓮華經の比較—無量寿經と法華經/法然と日蓮—」をテーマとした比較講座を開催しました。前半では「無量寿經」と「法華經」という經典に焦点を当て、それぞれの構造や仏伝との関係に解説を行い、後半はそれらの經典を

15 Activity

仏教を初歩英語で学ぶ会 年間開催報告

当協会では2年間のプログラムで「仏教を初歩英語で学ぶ会」(2級コース・3級コース)を実施しています。各コースには2月に試験が設けられており、令和元(2019)年度は、3級コースでは45名、2級コースでは23名が合格しました。

2級コース合格者で希望される方には、英語での案内を必要とする都内仏教寺院にガイドボランティア適任者として推薦状を交付しています。

また当講座は東京の仏教

2019年度は6名の希望があり、浄土真宗本願寺派築地本願寺にて英語境内案内奉仕活動員として活躍されています。

連続仏教講座
世界の仏教を学ぶ
PART 1

講座名	講師	日程
第1回	北伝 龍谷大学 宗学	7月14日(土)
第2回	南伝 龍谷大学 宗学	7月21日(土)
第3回	密教 龍谷大学 宗学	7月28日(土)
第4回	禅 龍谷大学 宗学	8月4日(土)
第5回	浄土 龍谷大学 宗学	8月11日(土)
第6回	天台 龍谷大学 宗学	8月18日(土)
第7回	真言 龍谷大学 宗学	8月25日(土)
第8回	日蓮 龍谷大学 宗学	9月1日(土)
第9回	その他 龍谷大学 宗学	9月8日(土)
第10回	仏教の歴史 龍谷大学 宗学	9月15日(土)
第11回	仏教の文化 龍谷大学 宗学	9月22日(土)
第12回	仏教の芸術 龍谷大学 宗学	9月29日(土)
第13回	仏教の思想 龍谷大学 宗学	10月6日(土)
第14回	仏教の生活 龍谷大学 宗学	10月13日(土)
第15回	仏教の未来 龍谷大学 宗学	10月20日(土)

お申し込み先 公益財団法人 仏教伝道協会 www.bdk.or.jp
TEL: 03-3798-0758 FAX: 03-3798-0758

伝道センタービルにて、平成23(2011)年より継続

京都でも開講 「英語で学ぶ日本仏教の基本」

— Learning Basics of the Japanese Buddhism in English —

2019年度は、皆さまからのご要望を多数いただき、京都でも英語で学ぶ会を開催させていただきました。

京都は、外国人観光客が多く、寺社仏閣を英語で説明する機会が多いと推測さ

的に開催し、大変人気のある講座の一つですが、令和2(2020)年度の開催は、コロナウイルス感染拡大防止の観点より、やむを得ず中止とさせていただきます。

れ、非常に需要の高い場所というところで、今回、Lisa Grunbach氏(龍谷大学非常勤講師)を講師として、「英語で学ぶ日本仏教の基本」(Learning Basics of the Japanese Buddhism in English)と題し4回(9月〜12月の期間/月1回)の連続講座を実施しました。関西地域の観光協会及び通訳ボランティア団体等に告知をしたところ、定員50名を越える56名の方が参加されました。

参加者の満足度も高く、今後も継続的に開催を予定しております。

16 Activity

連続仏教講座 「世界の仏教を学ぶ Part 1」 年間開催報告

令和元(2019)年度の新規講座として、連続仏教講座「世界の仏教を学ぶ Part 1」を開催しました。

インドから発祥した仏教は、北伝・南伝というルートで世界中に広がり、国に

よっては一概に同じ仏教とは言えないような教義や風習が存在します。

本講座では、Part 1と題して下記のようなスケジュールで北伝に焦点を当て、選りすぐりの講師をお招きし、各国の仏教の特色や現状を学びました。



第1回 インド 志賀浄邦氏



第2回 スリランカ 藤本晃氏



第3回 チベット 吉村均氏



第4回 ネパール スダン・シャキヤ氏



第5回 ブータン 熊谷誠慈氏



第6回 モンゴル 松川節氏



第7回 中国 柳幹康氏



第8回 韓国 佐藤厚氏



第9回 台湾 袁輪顕量氏

2019年開催実績

国	講師	日程
インド	志賀浄邦氏 (京都産業大学教授)	7月25日
スリランカ	藤本 晃氏 (誓教寺住職)	8月29日
チベット	吉村 均氏 (中村元東方研究所専任研究員)	9月26日
ネパール	スダン・シャキヤ氏 (種智院大教授)	10月24日
ブータン	熊谷誠慈氏 (京都大学こころの未来研究センター准教授)	11月29日
モンゴル	松川 節氏 (大谷大学教授)	12月20日
中国	柳 幹康氏 (花園大学准教授)	1月22日
韓国	佐藤 厚氏 (東洋大学東洋学研究所客員研究員)	2月27日
台湾	袁輪顕量氏 (東京大学教授)	3月25日

本講座には定員70名を超える申込みがありました。令和2(2020)年度もPart IIとして、南伝(タイ・ラオス・カンボジア・インドネシア・ベトナム・ミャンマー・マレーシア)に焦点を当てた講座を開講予定でしたが、コロナウイルス

の感染拡大防止の観点より、やむを得ず中止とさせていただきます。

◆各講座の詳細等は、公式サイトにてご確認ください。
<https://www.bdk.or.jp>

令和元(2019)年度 BDKシンポジウム開催

Symposium

毎回各界で活躍している方を講師としてお招きし、さまざまな視点から仏教を学ぶ機会を提供しているBDKシンポジウムを、令和元(2019)年度は3回開催しました。

※BDKシンポジウムの開催実績や今後の予定等は、公式サイトをご確認ください。 <https://www.bdk.or.jp>

各講演概要

第19回

テーマ：「自己を見つめて生きる 一禅の道八十年」

(於 北海道・道民活動センター) 2019年7月22日

第52回「仏教伝道文化賞」を受賞した西村恵信師(花園大学元学長)を講師にお招きし、「自己を見つめて生きる一禅の道八十年」と題し、西村師の自伝と禅の教えについて講演いただきました。

約90名の参加者を迎え、西村師は、自身の学生時代を振り返って「米国留学でキリスト教を学び、キリスト教学者や芸術家との出会いで世界が広がった」と力説。自らの人生を振り返る中で、「禅の道とはつま

り、【己事究明】自己を追究することである」と禅の境地について語っていただきました。

今回は、BDKシンポジウムでは初めてとなる北海道での開催でしたが、実りある講演会を開催できたことは、当協会にとって新たな一歩となりました。

◆尚、参加費は「平成30年北海道胆振東部地震」復興支援金として北海道仏教会連盟へお渡ししました。



講師：西村恵信師



青木晴美常務理事(中央)より参加費を北海道仏教会連盟(中尾良信師)へ寄付

第20回

テーマ：「日本仏教の未来」(The Future of Japanese Buddhism)

(於 仏教伝道センタービル) 2019年10月29日

ジョージ・タナベ氏(ハワイ大学名誉教授)を講師にお招きし、「仏教とは何か?」という原点回帰に基づき、アメリカの日系仏教寺院の事例と日本仏教の現状を比較しながら、日本仏教の再興に必要な視点についてお話いただきました。

その後は佐々木閑氏(花園大学教授)との対談で、西洋の立場から日本仏教を見直し、今後の日本仏教の

在り方を議論。来場者の方がたと一緒になって日本仏教の現状を変容させるには何が必要なのかを考察していただきました。

この度は当協会初となる試みとして、日英同時通訳サービスを利用し、日本語と英語の両言語での聴講が可能となり、今後のシンポジウムの裾野を広げるきっかけとなりました。



タナベ氏による講演

第21回

テーマ：「仏教と医療 ～現在と未来を語る～」

(於 仏教伝道センタービル) 2019年11月29日

増え続ける心の病や加速する高齢化社会など、現代社会が抱える問題の数々に仏教はどのように向き合えばよいのかを考えるシンポジウムを開催しました。

近年では宗教者が医療現場に携わるケースが少しずつ増えていますが、さまざまな課題が山積しているのが実状です。そのような中で僧侶でありながら医療現場で活動しているお二人をお招きしました。

川野泰周師（精神科・心療内科医、臨済宗建長寺派林香寺住職）からは「カラダに効く仏教」をテーマに、精神科の治療にマインドフルネスの側面から仏教の考えを取り入れることによって、どのような効果が

得られているのか、井川裕覚師（高野山真言宗歓楽寺住職、関東臨床宗教師会代表）からは「生死の現場と向き合う」をテーマに、臨床宗教師として、特に終末期を迎えた方と接して感じていることを、それぞれの経験に基づきながらお話いただきました。

そして講師2名によるクロストークの時間には、参加者から事前に募った質問への回答とともに仏教と医療の未来についてのご意見をいただきました。医療関係者の参加も多く、仏教と医療の新たな可能性を探るきっかけとなりました。



川野泰周師



井川裕覚師

ちょっと
ひと休み

公式ウェブ動画公開!!

「仏教聖典」の言葉が紡ぐひとつの物語



動画で的一幕

当協会では仏教を広く世界に伝える方法のひとつとして「仏教聖典」を全世界のホテル客室へ寄贈する活動を継続しています。

しかしながら、客室の簡素化による設置スペースの問題、ホテルスタッフの作業工数の削減、宿泊者の宗教の多様性などの観点から「仏教聖典」の設置自体を断られるケースが増えています。また、既に常備いただいているホテルにおいても、従業員の中で、その存在を認識されていないことがあります。

「仏教聖典」には日常生活やビジネス、人生において大切なこと、皆さんが頷くような教えが説かれています。そこで、ホテルの宿泊者、従業員の方がたにもっと「仏

教聖典」を知ってほしい、ぜひ手に取ってもらいたい、と考え「仏教聖典」の言葉からストーリーを紡ぎ、これを動画にして届けることを企画しました。

主人公は忙しく日々の仕事をこなすビジネスパーソン。出張先のホテルで、たまたま引き出しにあった「仏教聖典」を手にする、というストーリーです。どんな言葉が主人公に響いたのか、ぜひ公式サイト内“動画配信ページ”をご覧ください。

<https://www.bdk.or.jp/move/doga-haishin.html>





海外協力機関のご紹介

北米地区

米国仏教伝道協会
ハワイ仏教伝道協会
カナダ仏教伝道協会

中南米地区

メキシコ仏教伝道協会
メキシコ恵光寺

南米地区

南米仏教伝道協会

欧州地区

ヨーロッパ仏教伝道協会
ドイツ恵光日本文化センター
英国仏教伝道協会
ポーランド仏教伝道協会

アジア地区

アジア仏教伝道協会
台湾仏教伝道協会

日本国外には、現在9ヵ国10ヵ所にそれぞれ独立した“仏教伝道協会（通称：BDK）”があり、日本の仏教伝道協会と相互に連携しながら、特に『仏教聖典』の頒布活動を通じて仏教精神、仏教文化を伝えています。

海外協力機関のご紹介



お問い合わせ一覧

●各国での「仏教聖典」頒布やその他活動の詳細に関するお問い合わせは、お近くの仏教伝道協会までお願いします。

北米地区

米国仏教伝道協会
BDK America

1675 School Street,
Moraga, CA 94556 U.S.A.
Tel: +1(925)388-0067 Fax: +1(925)388-0331
<http://www.bdkamerica.org> (対応言語: 日本語・英語)

ハワイ仏教伝道協会
BDK Hawaii

1757 Algaroba Street,
Honolulu, HI 96826, U.S.A.
Tel: +1(808)942-1511 Fax: +1(808)942-2622
E-mail: bdkshi@hotmail.com
<http://www.bdkhawaii.com> (対応言語: 英語)

カナダ仏教伝道協会
BDK Canada

c/o Mitutoyo Canada Inc.
2121 Meadowvale Blvd.
Mississauga, ON, CANADA L5N 5N1
Tel: +1(905)821-1261 Fax: +1(905)821-4968
E-mail: horjo@bdkcanada.com
<http://www.bdkcanada.com> (対応言語: 日本語・英語)

中南米地区

メキシコ仏教伝道協会 / メキシコ恵光寺
BDK Mexico

Prolongacion Eugenia No. 17, Colonia Napoles,
Delegacion Benito Juarez, CDMX, C.P. 03810, MEXICO
Tel: +52(55)5669-1088
E-mail: bdkmexico@prodigy.net.mx / sakibdkmx@hotmail.com
<https://www.ekojimx.com> (対応言語: 日本語・スペイン語)

南米地区

南米仏教伝道協会
BDK South America

a/c Mitutoyo Sul Americana Ltda.
Rodovia Índio Tibiricá 1555, BAIRRO RAFFO, CEP 08620-000
SUZANO-SP, BRASIL
Tel: +55(11)5643-0006 Fax: +55(11)5641-3745
E-mail: bdk@mitutoyo.com.br (対応言語: 日本語・ポルトガル語)

欧州地区

ヨーロッパ仏教伝道協会 / ドイツ恵光日本文化センター
BDK Europe (EKO-Haus der Japanischen Kultur e.V.)

Brüggener Weg 6,
40547 Düsseldorf, F.R. GERMANY
Tel: +49(211)577918-0 Fax: +49(211)577918-219
E-mail: bdk@eko-haus.de
<http://www.eko-haus.de> (対応言語: 日本語・ドイツ語)

英国仏教伝道協会
BDK U.K.

c/o Mitutoyo(UK)Ltd. Joule Road, West Point
Business Park, Andover, Hampshire SP10 3UX U.K.
Tel: +44 1264-353123 Fax: +44 1264-354883
E-mail: BDK.UK@mitutoyo.co.uk (対応言語: 日本語・英語)

ポーランド仏教伝道協会
BDK Poland

c/o Mitutoyo Polska Sp.z o.o.
ul. Graniczna 8A 54-610 Wroclaw, POLAND
Tel: +48(71)354 83 50 Fax: +48(71)354 83 55
(対応言語: ポーランド語・英語)

日本以外のアジア地区

アジア仏教伝道協会
BDK Asia

c/o Mitutoyo Asia Pacific Pte. Ltd.
24 Kallang Avenue, Mitutoyo Building,
Singapore, 339415, SINGAPORE
Tel: +65 6294-2211 Fax: +65 6299-6666
E-mail: bdk@mitutoyo.com.sg
<https://bdkasia.org> (対応言語: 日本語・英語・中国語)

台湾仏教伝道協会
BDK Taiwan

4F., No.71, Zhouzi St., Neihu Dist.,
Taipei City 114, TAIWAN (R.O.C)
Tel: +886(2)5573-5913 Fax: +886(2)8752-3267
E-mail: bdktaiwan@yahoo.com
<https://www.bdk.tw> (対応言語: 日本語・英語・中国語)



NORTH AMERICA

カナダ仏教伝道協会 BDKカナダ

(カナダ)

マックマスター大学に
「沼田仏教講座」開設

BDKアメリカ・タナベ理事長より報告
仏教伝道協会では、「沼田仏教講座」開設に引き続き注力し、平成30(2018)年のアメリカ・プリンス



左からBenn教授、Hurley教授、William副学長、Deane学長、桂理事長

トン大学での開設に続き、令和元(2019)年には、カナダ・マックマスター大学に於いて「沼田仏教講座」を開設しました。現在、当協会では、アメリカ、カナダ、イギリス、ヨーロッパ各国にて合計17の「沼田仏教講座」を支援しています。

当講座を運営するアメリカ、カナダの各大学担当者は、毎年アメリカ宗教学会に参加しており、この機会を利用して「沼田仏教講座」について

米国仏教伝道協会 BDKアメリカ

(アメリカ・カリフォルニア州)

カリフォルニア大学バークレー校「東アジア図書館」10周年記念式典・シンポジウム開催

令和元(2019)年9月19日にカリフォルニア大学バークレー校(以下UCバークレー)に在る「東アジア図書館」の設立10周年記念式典が開催されました。この図書館は、全米で唯一のアジア圏各言語に特化した膨大な蔵書数を誇る図書館として、平成21(2009)年に建設されました。その中の一つに「沼田恵範文庫」があり、仏教学を学ぶ上で重要な役割を果たしています。

また図書館の建設にあたっては、沼田家および仏教伝道協会より寄付

の会議を実施しています。尚、2019年はサンディエゴにて開催されました。

マックマスター大学での「沼田仏教講座」開設署名式典には、日本から桂理事長と共に代表者数名が出席しました。マックマスター大学は、仏教学の分野での主要な大学の一つであり、今回の開設をきっかけに、今後更なる「沼田仏教講座」の発展が期待されます。

をさせていただき、その後も毎年、蔵書数を増やすべく、仏教伝道協会より継続的な助成を行っています。その長年の支援に敬意を表し、沼田恵明氏(株式会社ミットヨ社長)と桂紹隆(仏教伝道協会理事長)が式典へ特別に招待されました。他の出席者と共に図書館での素晴らしい式典を終え、故沼田恵範師の人生を振り返る特別展示を楽しんだ後は、UCバークレー・クラブハウスでの夕食で一日を締めくくりました。

式典の翌日には、UCバークレー内で、10周年記念行事の一環として「仏教哲学シンポジウム」が開催されました。シンポジウムでは、沼田社長の開会挨拶に始まり、シカゴ大学、オックスフォード大学、スタンフォード大学、ハーバード大学、プリンストン大学、ブリテイツェコロロンビア大学からの著名な教授陣による講演

左からMackey-Mason 博士(図書館司書)、桂理事長、沼田社長、Egger, 副学長、Zhou 教授(図書館館長)、Shaft 教授(沼田仏教講座担当)



があり、桂理事長も講演を行いました。仏教哲学は一般的には仏教学の中でも、あまり脚光を浴びていない分野ですが、今回のシンポジウムの開催で、仏教学の研究にあたり、この分野の更なる開拓の必要性が再認識されたようです。

「沼田智秀仏教書籍優秀賞」
受賞者発表

アメリカで、通称「トシ・アワード」(Toshi Award: 智秀賞の意)として知られている「沼田智秀仏教書籍優

🇨🇦 カナダ仏教伝道協会

🇺🇸 米国仏教伝道協会



受賞記念シンポジウム：左からStone教授、Swanson教授、Kieschnick教授



Swanson教授

秀賞」は、毎年最も優秀な仏教学の英文書籍に与えられています。

令和元(2019)年は、Paul Swanson教授(南山大学)の「Clear Serenity, Quiet Insight: T'ien'ai Chih-i's Mo-ho chin-kuan」(ハワイ

**ハワイ仏教伝道協会
BDKハワイ**
(アメリカ・ハワイ州)

**花まつり記念「ハワイ寺院の仏画
パナー・写真展」開催**

「ハワイ寺院の仏画パナー・写真展」は、昨年引き続き、米国仏教伝道協会(BDKアメリカ)と協力の上、ハワイ仏教伝道協会(BDKハワイ)が支援する「デジタル異教徒間プログラム」の共同開催で実施しました。

今回のイベントは、花まつり(4月8日)にお釈迦様の誕生を祝う仏教行

大学出版より3巻構成にて出版)が受賞し、審査委員会では、Swanson教授の翻訳は、「勇敢な試みの結晶であり、最高傑作だ」と賞賛されました。

受賞者は、毎年カリフォルニア大学バークレー校・仏教学センターにある外部委員会により選出され、今年の表彰式は、2019年12月6日に行われました。Swanson教授の講演に続き、ohn Kieschnick教授(スタンフォード大学)・Jacqueline Stone教授(プリンストン大学)にも講演いただきました。

Swanson教授は講演の中で、翻訳が完成するのに3年以上も費やしたことに触れながら、翻訳の注釈の説明を行いました。

事)に合わせ、令和元(2019)年4月7日から、ハワイにある全ての仏教宗派が加盟するハワイ仏教会のご協力のもと準備をすすめ、浄土真宗本願寺派ハワイ別院(ホノルル)の交流室にて開催しました(展示会は、その他カリフォルニア州、ハワイ州の数か所にて開催)。

仏画パナー展示会は、12のハワイ寺院の様ざまな側面をパナー(横断幕のようなもの)に描き、伝統的で獨創性に富んだ寺院の建築、各宗派の宗祖、崇拜対象物、家具、ハワイ特有の民芸品などを通し、現在でもハワイに健在する90の寺院を紹介しまし



NORTH AMERICA SOUTH AMERICA



和やかな雰囲気の中、仏画パナー・写真展会場

た。
写真展は以前、日本の仏教伝道協会により実施された企画で、インドの風景写真とともにブッダの言葉が添えられており、場内で配布したパンフレットは、BDKアメリカによって英訳されました。

イベントでは世界平和への願いと休日を祝う美しい音楽も奏でられ、多くの来場者を魅了していました。

「ハワイ 本と音楽の祭典」出展

ハワイ仏教伝道協会(BDKハワイ)は、毎年ホノルル市役所にて開催



真剣な面持で講義を聞く参加者

「自死問題防止フォーラム」 「ソウルシヨップ」協賛

「ソウルシヨップ」は近年、全米各地で盛んな活動として知られ、宗教

される「本と音楽の祭典」に今年も参加し、200冊を超える「仏教聖典」を参加者に配布しました。BDKハワイのブースでは、ボランティアの方々が協力により、直接来場者へ「仏教聖典」を配布し、また単に配るだけでなく、仏教に関する話をしながら直接手渡すことが出来ました。

団体が、どのように「自死問題」に対応していくかを学ぶ集まりです。この会は、全国で過去数百回にものぼる開催を実現していますが、2016年に初めてハワイでも開催されて以来、ハワイ仏教伝道協会(BDKハワイ)でも支援しています。ハワイも含め、全国で自殺数が増加している中、令和元(2019)年10月18日、19日に開催された会に、BDKハワイも参加しました。

主な講座は、ホノルル市内で開催されましたが、オアフ島以外にお住まいの方がたも、インターネット上で参加可能なオンライン・セミナー形式で出席しました。オアフ島、カウアイ島、ハワイ島から、若年層を含む約160名の寺院、教会関係者が出席し、今回のフォーラムの為に考案された特別講座を通じて、自殺防止対策について考えました。

「平和を願うハンドベル」 「三味線コンサート」共催

森山二城師(臨済宗建長寺派福聚寺住職)によって編成された日本人ハンドベルグループのティンカーベルと、著名な津軽三味線奏者である新谷松寿氏、及川達也氏による、平和を願うコンサートを開催しました。

コンサートは、真珠湾攻撃の悲惨さを思い出し、そして2011年に発生した東日本大震災の際に、日本



ハワイ仏教伝道協会



メキシコ仏教伝道協会



「恵光縁日まつり」参加者

の被災者へ寄付を寄せてくださったハワイの皆さまへの感謝を示すことを目的として、令和元(2019)年12月7日、シャミナード大学(ホノルル)にて開催されました。今回のコン

メキシコ仏教伝道協会 ・メキシコ恵光寺 BDKメキシコ (メキシコ)

メキシコ仏教伝道協会 専任担当者のご紹介

令和元(2019)年9月、BDKメキシコに横尾咲子氏が着任しました。横尾氏は平成15(2003)年に青年海外協力隊員としてメキシコに赴任したのを機に、特定非営利活動法人「手をつなぐメキシコと日本」を設立し、両国の文化交流に尽力してきましたが、メキシコ恵光寺の理念でもある「共生・共存」という共通の精神に出会い、この度、正式にBDKメキシコの一員となりました。メキシコ恵光寺を戸高浄信住職より引き継ぐべく、目下、僧侶資格取得のため勉強中です。文化交流企画のプロフェッショナルとして、早速、各種コンサート、日本の前衛芸術舞踏、縁日まつりなど、魅力的な企画を実施して恵光寺ファンを着々と増やしています。横

サートは、ハワイ仏教伝道協会(BDKハワイ)とフジタニ異教徒間交流プロジェクトの共催で実施し、参加者は美しい音色に聞き入り、一心に世界平和を願いました。



紙芝居上演後、「ブッダがせんせい」と「仏教聖典」を配布：横尾氏(中央)

尾氏は、メキシコ政府文化省公認アーティストでもあり、政府主催の文化祭や公立学校で紙芝居上演を行い、古くて新しい教育手法として紙芝居のノウハウを伝えると共に、イベント毎に「仏教聖典」や「ブッダがせんせい」などを、着任後4ヶ月間のうちに600冊以上を直接手渡しました。

【横尾氏よりメッセージ】

メキシコ新政権が発足した2019年は、BDKメキシコにとって



古武道を学ぶ方がたと：青木常務理事（前列中央右）戸高住職（前列中央左）

も新しい風が吹く一年となりました。大きな期待が寄せられる新政権のテーマに合わせて、恵光寺のテーマも「変革（Transformation）」とし、個々の心の開発を促すことで、汚職と犯罪のない社会の創造を目指し活動に邁進してきました。恵光道場では、恵範塾をはじめ、武道、舞踊、書道、坐禅、ヨガなど、約200名が日々精進していますが、その



国立師範学校の生徒さんに「仏教聖典」を寄贈



「ブッダがせんせい」と「仏教聖典」を受け取るメキシコ人家族

一人ひとりが、より仏教に結びつけて研鑽を積み、それぞれの日々の仕事や生活に取り入れていくことを勧めてきました。
「仏教聖典」の寄贈活動に加え、人々が集い、学び、憩うお寺を目指し、恵光寺ファンを増やすことが重要課題と捉え、様々な企画を実施しました。なかでも、2019年12

- 公式サイト
URL : <https://www.bdk.tw/>
- お問い合わせ用メールアドレス
bdktaiwan@yahoo.com

この度、台湾仏教伝道協会では、公式サイトを開設しました。ウェブサイトを訪問していただく皆さまにとって、使いやすく、分かりやすいページとなるよう、新たに作成しました。今後も皆さまに活用いただけるサイトを目指し、新たな情報を随時更新していきます。

台湾仏教伝道協会 公式サイトを開設

BDK台湾（台湾）

月14日に実施した「恵光縁日まつり」は大盛況となり、300名以上の方にご来場いただきました。
令和2（2020）年、BDKメキシコは35周年を迎えます。建物の全面改修も始まり、更なる変革の一年になりそうです。改めて「伝道」を見つめ直し、メキシコという土地と、移り変わる時代に対応して、常に手法を替えていく必要があると感じています。お祭りや新しいものが大好きで、何でも受け入れる寛容さを持つメキシコの人びとですの



BDK台湾 新公式サイト

で、文化芸術活動は最適であり、また最も平和的、且つ平和を具現する形であると信じ、今後更に力を注いでいく所存です。また、出張寺子屋企画として、プエブラ大学における戸高住職の月例法話に加え、公立小学校の子どもたちを対象に、仏教説話や道徳的逸話を紙芝居で上演するプロジェクトを開始し、刑務所への訪問活動も開始しました。釈尊の教え、「共生・共存」の精神をメキシコで広めるべく、日々精進してまいります。

 台湾仏教伝道協会

 アジア仏教伝道協会

「仏教聖典」頒布の様子



卒業式典会場（マハクット仏教大学）



**アジア仏教伝道協会
BDKアジア**
(シンガポール)

**タイ・マハクット仏教大学への
「仏教聖典」寄贈**

アジア仏教伝道協会では、(株)ミツトヨ・タイを通じて、令和元(2019)年10月10日に「仏教聖典」2,000冊をマハクット仏教大学・中央図書館へ寄贈させていただきました。

同大学は、タイを代表する仏教大学の一つであり、7キャンパス、4学部、3専門大学、大学院等で構成されています。
2019年11月16日には、同大学の卒業式にて「仏教聖典」を展示し、式典に出席した卒業生やその親族、関係者の方がたへ、追加で2,000冊を配布させていただきました。
寺院、病院、学校などの関係者が「仏教聖典」へ更に関心を持つてくださり、沢山のお問い合わせをいただく素晴らしい機会となりました。



マハクット仏教大学・中央図書館へも「仏教聖典」を寄贈：ミツトヨ・タイKasidis氏（中央）



ヨーロッパ仏教伝道協会
BDKヨーロッパ
(ドイツ)

デュッセルドルフ

「日本デー(Japan Tag)」

イベント開催

毎年、デュッセルドルフ在住の日本人の皆さまや日本領事館関係者を始め、ノルトライン・ヴェストフアーレン州デュッセルドルフ市が企画、運営する一大イベント「日本デー」が、令和元(2019)年5月25日に開催されました。

今回で17回目の開催となり、前夜祭では、恵光寺本堂正面での野外太鼓ライブが行われ、当日は恵光センターを終日一般開放しました。天候にも恵まれ、書道教室の体験・展示会、琴の体験会等を開催し、1,000名を超える皆さまに会場いただきました。また、本堂では、親鸞聖人降誕会も勤修され、法要後は僧侶による一般観光客向け仏教講座を2度開催し、こちらも大変好評でした。

また、今年も「仏教聖典」の特別販売場を玄関ホールに設け、この週末だけで69冊を販売させていただきました。

恵光幼稚園20周年記念行事 開催

令和元(2019)年に恵光幼稚園は創立20周年を迎え、同年7月3



日本デー開催時の庭園内



Kobs師による法話



書道パフォーマンス



箏ワークショップ

ヨーロッパ仏教伝道協会

20周年記念行事出席者



祝賀会



本堂での式典に出席する園児たち



日に記念式典を開催しました。本堂での記念法要の後、日本庭園において園児たちによる賑やかな演技が披露されました。その後、場所を恵光ホールに移し、祝賀会を開催しました。磯正人氏（在デュッセルドル

フ日本国総領事）、F・G・コンツエン氏（デュッセルドルフ市副市長）等、多数の来賓にご臨席いただき、盛大な祝賀会となりました。また、会場では、園児たちが作成した工作を展示し、幼稚園保護者がコー



報恩講法要後にセミナー参加者と

ラスを披露するなど、記念行事に更なる彩りを添えていました。
報恩講セミナー 開催
ケネス・田中氏（武蔵野大学名誉教授）を講師としてお招きし、「浄土真宗における信心という目覚めく大乘仏教のルーツと念仏瞑想」と題して報恩講セミナーを開催しました。今回は、11月22日から24日の3日間、延べ約35名が参加しました。本セミナーは、ヨーロッパ各地

令和元（2019）年は、恵光センター内における「仏教聖典」の売り上げが飛躍的に伸び、例年の年間売り上げの約3倍にあたる646冊を売り上げました。館内や恵光寺本堂に見本として設置している「仏教聖典」の言語数を増やし、配置や展示方法を工夫したことで、より多くの来館者に興味を持っていただくことができました。「仏教聖典」を通じて少しでも仏教に触れる機会を増やし、ヨーロッパに仏の教えが広がることを願い、今後も活動を続けていきます。

「仏教聖典」販売数増加



セミナーの様子

に点在している浄土真宗サンガが一堂に会し、相互コミュニケーションを図り、今後のヨーロッパにおける仏教の在り方や活動について話し合う場にもなっています。

希望（きぼう）

希望とは「願いのぞむこと」です。
生きるということは、願いに向かって歩むことです。
のぞみのない人生ほど悲惨なものはありません。
ところが私たちは、人生の途上においてしばしば願いを見失い、
のぞみを失うことがあります。

目の前の事柄を処理するだけで全精力を使い果たし、
現実に埋没して、理想を失った人間に、希望はありません。
希望をもって生きるとは、常に理想をもって生きることです。

「いのち」の理想が実現している世界が「浄土」です。
『阿弥陀経』に、

青い色は青い光を、
黄色い色は黄色い光を、
赤い色は赤い光を、
白い色は白い光を放っている。

とあります。

それぞれの色がそれぞれの光を輝かせているのです。
そこに「いのち」の理想があり、真の希望があるのです。

（仏教伝道協会 第二代会長 沼田智秀 著 『ささえあって―百八つのおもい―』より）